京城日報

定價 一ヶ月金六拾五錢 ▲六ヶ月前金… 廣告料金 五號一行… 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川ヨ之介 發行所 京城日報社 京城本町通一丁目 電話 …

十一月二十日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇講和會議順序 帝國講和條件確定 豫備會議にて大體決定

ヴエルサイユに於て近く講和豫備會議開會さるべく我珍田大使も英伊代表者と共に出席に赴けるが續いて廿八箇國代表者の參加する講和大會議は明年二三月頃開會の順序となるべきが我帝國政府の提出すべき講和條件は既に確立し是を珍田大使の手許に送致したる由なり而し豫備會議に於て各國個々に具體的條件の提議を爲す時は議事進行上困難を來すべき故該會議に於ては日英佛米伊の諸國關係者のみにて大體の順序を決定したる後講和會議に於て各國個々の條件を調査し外交事務專門委員會を設け更に分科會に移し審議し以て議事の進行を圖ること〻なるべし而して愈々會議に於て決定したる占領地處分例へばアルサス、ローレン處分等に就ては國境劃定委員を設けて實地調査を行ひ又殖民地處分に就ては被占領地人民の國籍文化財産等に關し特に委員を設けて審査すべきを以て終了迄には多少の時日を要すべく而して永久平和基礎確立後思想問題等の重要問題に就ては最後に議せらるべき順序なりと（東京特電）

◇米國講和使節 大統領列席資格

【華盛頓來電】米國大統領ウイルソン氏は米國の正式代表者たる資格を以てせず單に講和會議の席に列するの目的を以て渡歐すべしと信ずべき理由あり又大審院判事ブランデル氏は講和使節の一員たるべく尚講和使節たる國務卿ランシング氏不在中は國務省參事官ポーク氏國務卿代理として政務に當るべしと（東京特電）

◇海軍條項不履行 ターゲスツァイツング紙の聲明

【伯林來電】ターゲス、ツアイツング紙は聲明して曰く獨逸は休戰條件中海軍に關する條項を履行する能はず之れ革命黨が獨逸軍艦を支配し居るが爲めなりと（聯合電報）

◇米大統領渡歐期

【倫敦來電】米國大統領ウイルソン氏は多分十二月上旬渡歐すべし（東京特電）

◇獨代表派遣要望

【華盛頓來電】獨逸は食糧問題に就き華盛頓に代表者を送らん事を要望し外相ゾルフは國務卿に許可を請へり（聯合電報）

◇獨對佛國賠償金

ル、マタン紙は斷言して曰く獨逸は佛國に對し支拂ふ可き賠償金六百八十億弗の負擔を有すと（巴里電報）

◇新政府政綱發表

【哥本哈根來電】今回成立せる獨逸新政府は十二日附政綱を發表せるが其中には戒嚴令及び檢閲制度の廢止、集合結社の自由其他社會的改良事業に關する項目あり（東京特電）

◇獨秩序恢復か

【紐育來電】獨逸に於ける其後の情勢に關し各地より達せる斷片的報道を綜合するに若干の地方にては今尚ほ暴動的行爲を演出しつ〻あるも獨逸國全部に就て見る時は既に平穩に歸し秩序恢復せるもの〻如し（東京特電）

◇獨紙の專制反對

【ストックホルム發東京電】獨逸各新聞は勞兵會の專制的政治を不可とし各平等の民主的政治を要求し速かに立憲國民議會を召集す可きを論じ居れり（東京特電）

◇脫走獨兵盜賊團

【倫敦來電】或筋に達したる報道に依れば脫走獨逸兵卒は飛行機隊と稱する盜賊團を組織し地方各都市に於て掠奪を行ひつ〻あるが同團の或者は既に捕縛され又或者は射殺されたり（東京特電）

◇カール皇帝匈王退位

【哥本哈根來電】墺國帝カール一世は匈牙利王位を退けり（コペンハーゲン電報）

◇西內閣員初顏合

西班牙內閣員は十二日初めて議會と顏合せを爲したるが其際マルセリノ、ドミンゴ氏は君主制に對し猛烈なる攻擊を加へたり後市街に暴動起り暴徒若干名は警官の爲め捉へられたり（倫敦電報）

◇復員命令と輸送

米國參謀總長マーチ將軍は今後二週間以內に米國軍隊二十萬人を除隊す可く復員命令を發したり尚佛國よりの輸送は船舶部令付き次第開始す可しと（聯合電報）

◇南北妥協難問題

南北妥協に關し至難問題といふべきは新舊兩國會の處分なるが結局兩會より若干の委員を選び會合の上徐總統を追認し新選擧法を制定したる上同時に解散するに至るべしと（北京特電）

◇平和談判と說明

國務院は李純氏に對し下の如く打電せり一、平和談判を南京にて行ふ事一、南北雙方より多くの代表者を出すこと尚北京政府は代表者を南京に派し李純氏に對し北方の條件を說明し氏は西南に之を轉電せり（北京特電）

◇重案審議 外調會開會

臨時外交調査會は十九日午後三時より永田町首相官邸に於て開會寺內伯平參の外原總裁以下各委員幹事出席對獨休戰條約成立後に於ける各般の外交經濟に就き內田外相牧野伯幹事長より報告ありたる後帝國政府の對講和方針其他之れに關聯せる重要案件に就き慎重審議せり（東京特電）

□御祝電交換

對獨休戰條約成立に就き聖上陛下より去る十三日夫々御祝電を發せられ英、伊兩國陛下よりも陛下に對し祝電を寄せられたるに對し何れも十四日御答電を發せられたるが徐總統よりも祝電を寄せられたるに對し陛下より鄭重なる御答電を發せられたり（東京特電）

◇講和準備會議 隨員內定

講和準備會議に參列す可き珍田、松井正副兩使の隨員は十九日外務省より書記官佐分利貞男、參事官松田道一の兩氏を派遣するに內定し陸軍省よりは奈良軍務局長、秦軍事課長、二宮軍事課員海軍省よりは竹下中將、山川參事官等派遣せらる可しと（東京特電）

◇蒙古毛織株好況

滿蒙毛織株は十九日締切り迄の申込み七萬五千に達し好績を示せり（奉天特電）

◎鮮銀二市貸附 電燈修理費として三十萬圓

朝鮮銀行にて露領ニコリスク市に三十萬圓の貸附をなしたりとの說あるが右に付聞く所によれば客月ニコリスク市より朝鮮銀行の支店たる浦鹽松田銀行部に對し三十萬圓の借入れ申込みあり擔保として同市の土地その他の不動產を提供すべく借入金の使途は過激派の爲めに破壞されたる同地電氣會社發電所その他の修理に充當せんと云ふにあるより本店にては銀行部の申請に對して照會を盡せし結果條件に多少の修正を加へ貸款差支なしとの指令を發したる由なるが爾來約一箇月資金受授並にその他の件に付何等浦鹽より報告なく本店にては靡然し居らざるも多分未だ現金の交附をなしたる譯にあらざるべく何等かの點に於て交涉を續けつ〻あるもの〻如しと尚ほ鮮銀の對露投資は從來二三ならず交涉ありしも時局の關係上未だ一件も成立し居らず今回二市との間に協議成れば對露投資の嚆矢たるべし

◎期米廿八圓臺

二十日仁川期米は前場の先物二十八圓三錢附き前日後場引値に比し二十六錢高を示したるが利食賣りの頻出せしに拘らず內地高の入報は市場を愈硬調ならしめ高値二十八圓二十錢引値二十八圓十六錢を示し新高値を唱せり

◎三井繰綿工場 全南三地に設置

近き將來に於て朝鮮紡織會社の姉妹會社となるべき繰綿工場は取敢ず三井物產會社にて經營を開始する事となり過般總督府より設置の許可を受けしを以て三井にては全南木浦松汀里光州の三地に工場を設置し工事は十一月中に落成せしに付開業早々操業を開始するに至るべし

◎毛織募株締切 京城にて約二倍

朝鮮銀行本店に於ける滿蒙毛織株式募集は關東都督府の配當後援的持株にて多大の人氣を呼び京城を主とする申込…

◎酒造講習會

道酒造講習會は二十日午前九時三十分總督府第二會議室に於て開會せる豫定の如く道書記及び道技手の酒造講習會に先だち鈴木道支部長官の訓示あり直ちに講習に入り清水技師並に川瀨技手の酒類醸造法に關する講義ありて午後四時散會したり因に本講習員は二十三名にして二十二日迄午前中事務二十六二十七の兩日は事務打合せを爲す豫定なるが其の內技手は二十日より二十二日迄の三日間醸造試驗場に於て酒類醸造の實地研究を爲すべく二十五日は道書記及び技手全部醸造試驗場及び民間酒類醸造者に就き清酒藥酒燒酎の醸造及び取締事務の實習を爲すべしと

◎體操講習會（第三日）

體操講習會第三日は前日に引續き二十日午後一時より南大門小學校に於て開講櫻井博士の講演あり午後四時散會せり

◎价川輕鐵延長

价川（平南）龍川（平北）間輕便鐵道にて工事中の處此の程殘成十七哩五分は竣工したるを以て十一月一日より一般運輸營業開始の許可ありたるを以て十二月一日より一般運輸營業を開始すべしと因にこれにて价川輕鐵の總延長は二十三哩となれり

◎東拓移民受賞

北鮮共進會に於ける受賞者中東拓移民にて之を占め居れるが其の內地人受賞者は一二三等全部東拓移民の人員は左の如し

一等（米）二人　同（果實）二人
二等（米）三人　同（藥類）二人
三等（米）八人　同（果實）一人
同（綠肥）二人　同（麥）六人

◎露貨換算率變更

東清鐵道にては日本貨物運輸に適用…

◇英總選擧形勢 =自由黨統一黨聯合=

【倫敦來電】英國政府は十四日議會は來る二十五日を以て終了十二月十四日總選擧を執行すべき旨發表したるが是より先アスキス派と分離したるロイドジョージ氏擁護の自由黨代議士其他約二百名は十一月十二日首相官邸に會合し首相より戰後の政綱を聽取すること一、領土內の行動に關すること二、各種民族の自治はアルスタインの外は是を許さざること三、…四、愛蘭の自治は…の取締を爲すこと四、愛蘭の自治はアルスタインのみ是を許すこと…に關むことに決定し同日統一黨と會合し…ロイドジョージ氏の政綱を明讀したる後統一黨も亦自由黨側と聯合してロイドジョージ氏を援護すべきことを協議せり而して勞働黨は十四日臨時大會を開催し其結果聯合內閣との關涉を斷絕すべきこと等を以て可決したるが同黨閣員は同時に辭職すべき旨の決議案を大多數にて內閣に列し居れる同黨出身大臣バアリンス氏は既に勞働黨との關係を脫して留任に決し其他の數名も現位置に留まり依然聯合內閣擁護に決せりと傳へらる（東京特電）

◇チス國民會議へ貸附

米國政府はチエック、スロヴァック國民會議に七百萬弗を貸附くるに決したり（華盛頓電報）

◇張巡閱使歸期

在京中の張巡閱使は二十五日迄に中央政府と交涉を纏め歸奉の旨張代理楊督軍に來電ありたり（奉天特電）

◇鮑道尹來奉

鮑東邊道尹は事務打合せの爲め十九日來奉暫く滯在す可し（奉天特電）

◎殖銀の營業方針（一） 於店長會議 三島頭取演述

殖產銀行支店長會議に於ける三島頭取の訓示演說は同行の營業方針より觀て時節柄眞に注意すべきものありその要點を摘載する事とせり

（前略）これから當銀行現在の狀態について一言しますが前農銀より引繼ぎました當時の貸出しが千八百萬圓預金が千三百萬圓ばかりありましたが貸出中には櫻井理事より話のあつた通り回收不能のものと二百萬圓近くある此の整理の途として政府も無利子貸下金の外に運轉資金として鮮銀より四百萬圓を借ります入ると云ふことを政府の約束が出來て居りますから是で整理する心算でありますが當初政府案としては十年間の豫定でありますが私の考へでは六七年にて整理が出來る事と思ひます然らば今後の方針如何と申しますに大體すべて擴張して積極的に仕事をしたいと思ひます然らざれば政府の設立の趣意にも反することゝ思ひます さうして今後は主として勸業金融部に力を盡し農工其他產業資金の健全なる放資を計り以て半島開發の爲めに多少の力を致し度いと思ひます然し此の如き擴張をなすに付て最も注意すべきは貸出しの方法でありまして安全に貸出すの方法を十分に研究しなければなりません普通銀行業に就きては是は殖產銀行の本領ではないから之に全力を注ぐと云ふ譯には行かぬかも知れぬけれども已に政府より普通銀行業務を營むべきの命令があり之が開始をしたる以上は相當の効果を舉げねばならんことは亦吾々の義務なりと信ずるのであります普通業も從來からやつて居つたのでありますが大體に於て遺憾ながら成績が十分とは思へないのであります他の銀行のない所では當行が獨占して居るので一般の取引きが增加しない以上は發展も六ヶ敷いでせうが然し尚ほ何となく勉強の足りない處がありはせぬかと思ひます又他の銀行のある處乃ち平壤とか木浦とか云ふやうな土地では他に對して大に遜色がある樣に思はるゝ之れは當行が本來勸業金融を主とする關係又個人の取引を主とする關係資金の關係、種々の事情があつた爲めで諸君の努力が足らないではありませぬ今後とても勸業金融を主とし銀行業を遜しとすることは變りませぬが今日の樣な二流以下の得意先のみで小銀行的の狀態では困ると思ふそれから資金は無論本店で心配しますから各支店にて心配される必要はありませんが此に幹部計畫の大體の御話しをして置く方が諸君の執務上の參考にもなり便宜であらうと思ふ、第一に勸業資金は債券發行によることは勿論であります事情の許す限り之れに依る積でありますが今直ぐ發行すと云ふ事は一寸出來ない事情もあり旁々他に種々の方法を講究して居る次第でありますが其主なるものは日本勸業銀行との關係で是れは如何なる形によるかまだ分りませぬが先日來勸業銀行で聞き合せた處、何とか方法が立つやうに思ひます次に商業資金は結局預金により て之を調達する外はありませぬから諸君も此點に就ては充分努力せられんことを希望します朝鮮銀行で一時の融通は出來るが之れは一時的の融通を受くるので今々必要を增加すべき資金を總て此借入金で辨じて行くことは出來ませぬから結局は預金に依賴する外はありませぬ乃ち預金は商業金融活動の原動力でありますので諸君も十分此點に力を用ひられんことを願ひます本店に於ても全力を傾注してやる積で夫れ夫れ計畫を立て居りますから相當のことは出來ようと思ひます此點に就き一寸注意しますのは預金と云ふものもさう急に增加するものではない各種の方法を講じて時期の到るを待たなければならぬ諸君は決して急いではならぬ又決して中途で放棄してはならぬのであります此事は前にも申した通り萬事其都合りですから十分腹を据ゑてやられんことを望みます

◎吉武博士視察

滯京中の東京高等工業學校教授吉武工學博士は二十日朝南大門驛發宇野中央試驗所技師の案內にて鎭南浦平壤鎭南浦新義州の順序にて各地視察の途に就きたるが二十五日一日歸來歸東の筈なり

◎鮮人視察團員

二十一日南大門驛發內地觀察の途に上るべき南鮮地方を除きたる鮮人觀察員十六名は二十日午前十時總督府秘書課に集合關屋局長並に學務課長より視察に關する注意ありたり

◎久保局長歸期

京城管理局長久保要藏氏は目下事務打合せの爲め大連滿鐵本社に出張中なるが來る廿二日頃歸任すべし

◎片山理事歸期

十九日東上せし片山鮮銀理事は月內に歸京の豫定なりと

人事消息

▲井上正愛氏（鮮銀營業課長） 廿日朝下關に向ふ ▲香椎源太郎氏（釜山水產會社長） 廿日朝入京巴城館へ ▲吉武工學博士 ▲大橋平壤商業會頭 廿日午前九時五十分發南大門驛へ ▲杉山三菱重役 廿日午前九時五十分發二南へ ▲岡村正雄氏（釜山驛長） 十九日朝入京二見館へ ▲篠原源二郎氏（朝鮮製紙社長） 廿日朝入京朝鮮ホテルへ ▲原藏三郎氏（同常務取締役）同上 ▲柿崎鋭太郎氏（同上取締役）同上 ▲渡邊道太郎氏（同上重役）同上 ▲津倉經作氏（朝鮮製紙會社代表社員） 廿日朝入京南山莊へ ▲西脇樹吉氏（同上原料主任）同上 ▲藤原泉貴氏（總督府囑託） 亡父一週忌法要の爲め十七日二週間の豫定にて鄕里三重縣へ歸省 ▲福山熙氏（鮮銀東京支店詰） 二十四日赴任の豫定 ▲高橋武夫氏（鮮銀營業局調査課長） 二十二日朝南大門驛發赴任の豫定

茶前酒後

◇戰爭は文明を進むるもの也と [illegible] ◇獨逸の革命は、露國の革命に其相似ざる處は露國に無學文盲の多かりしに對し、獨逸は國民教育の普及せるに據る。其各地革命の態樣とする所を見るも究局の目的は、社會主義的共和國の建設に在るもの〻如く、兎も角一定の目標に向つて進みつゝあるが如し。[illegible] 露國の革命は破壞的にして獨逸の革命は建設的也。◇戰場に於る獨軍の士氣、既に頽廢したりしとは、頻りに報ぜられたる處也。[illegible] ◇有史以來、空前の大戰の終熄すべきものは、全世界に波及すべく、其影響の大なるも亦當然也。唯に國際關係の變化とのみ言はんや、世界地圖の變色とのみ言はんや、有らゆる民族、有らゆる國家を通じて、有形に又無形の變化は、もとより偶然に非ず。交戰諸國民及び爾餘の中立國民を舉げて、此大變化に處するの用意無からざるべからず。急轉直下の形勢に對して [illegible] 徐に自ら此機會に順應して執るべき計圖を考慮せよ。

小川一眞先生監修 寫眞術講義 ▲會費前納六個月參圓三個月壹圓七拾錢 ▲入會規則內容見本郵券八錢 振替東京四三〇八三番 東亞寫眞學會

大正八年 鐵道日記 名紳士日記 電氣日記
表紙別誂更紗優雅清麗、三方革金、用紙別誂、鉛筆カクシ付石版日本地圖付、記事欄全部色刷 各一冊五十錢 郵稅二錢
外裝優雅、印刷精巧內容は日記と豫記欄と各專門家必須の諸表公式規則を七號活字百頁に歴撰せる便覽と四十頁の雜記欄より成り製本美と相俟つて類書に超越す殊に鐵道日記は十六年の歴史を有し紳士日記の異名にて廣く歡迎を享く郵便其他諸稅日用便覽表客貨運賃表大貨物等車場表等を載せ一般運輸關係者は勿論何人にも重寶也 內容申込次第贈呈

ポケツト用 機械日記

保險證附正拾八金入 指環特價提供
正當なる金質と光澤を有する指環は目下東京市內大流行品 M式ダイヤ入 特價四圓貮拾錢 東京淺草區馬道町 電話下谷七四五 振替東京四九一八七 佐野正地方部

家政整理號 主婦之友十二月號
物價騰貴に處して改良したる中流月給取の家政 東京足袋の縫ひ方 ツワリに苦んだ經驗 有利な新內職 田舍で鷄を飼ふ利益 羽織の衿を上手に返す法 望通に男兒を生んだ實驗 冷性の婦人の養生法
一冊廿五錢 東京神田表神保町 東京家政研究會

＝休戰と當株＝
峻嚴なる休戰條約も遂に獨逸の屈從により＝武力戰は近く終熄せんとし次で來るものを經濟戰なりとす＝西歐各國は其快報を謳歌し財界頓みに活況を呈す＝吾財界の刺激も亦豫想の外なるべく諸株暴騰の序幕は已に開かれたり＝弊會夙に取引所株に着眼し第十回諸株買付に對しては既に多額の配當を爲し今又第十一回を組織し依例巨利を贏得ん＝逡巡は噬臍の悔を貽さん同士迅かに來つて此千載一遇の好機を逸する勿れ
申込期間十一月三十日限 加入金一口五十圓
日本信託證券部 第十一回 株式（大）（新）買同氣會 ▲會則內容說明書贈呈す▼ 大阪北區堂島濱通一丁目 電話北二九四

◇大庭將軍に隨つて……(二一)

▽我軍が優勢であります

＝イルクツクよりチタに歸る迄＝

從軍記者　早川磐溪

イルクツク市は曾遊の地であるから市中見物は抜きにして先づ領事館に武藤少將を訪問した後、我〇〇聯隊の宿舎中隊の兵營を參觀した、此兵舎は元過激派軍が占領して道向ひの士官學校に立て籠つた士官候補生と砲火を交へた建物で二階から見ると士官學校には砲彈の跡が蜂の巣を破つたやうに印せられ燒殘りの赤煉瓦は

▼廢墟の如く　突立てゐる兵營は完膚なきまでに荒されて居たのを市役が日本軍の秩序維持に對する謝恩的意味に於て完全に修理して提供した建物である、構内には西伯利第四軍團の一部が駐屯してゐて、同じ炊事場を使用してゐる、炊事軍曹に『ごつちか食物は宜いか』と訊ねると『ハイ我軍が優勢であります』と答たのには師團長以下何れも噴飯した

▽貝湖畔は　夜陰でなくては通過させぬ

客車の一夜を明かして翌七日午前九時發車を命じたが、驛員は何を恐慴々々してゐるのか一向列車を出しさうにもない、聞けば帝政時代貝加爾湖迂廻線は夜陰でなければ通過させない事にしてあつた習慣が、帝制崩潰の今日まで殘つて居て、將軍一行を白晝通過させまいとする魂膽であつたさうな、然し將軍の威光で命令よりや〻遲れて發車したが、出發に當つて驛構内には日本兵の堵列があり、得意の大庭師團長は之を閲兵し、其の威風を觀んとて群衆寄せた驛長はプラツトホームに人の山を築いた、人生意氣將軍たる亦痛快ならずやと叫びたいやうな感がひし〳〵と胸に迫つた(八日イルクツクにて)

▽師團長更に　ネルチンスクへ

チタイルクツク間の視察を了へたる大庭師團長は十日午前九時チタ發更らにネルチンスクに向け出發し、同地より引返して黑龍江線モゴーチヤ。領事同師團長は同線に至り引返してカルイムスカヤよりオロワンナヤに向ひ十八日チタに歸着の豫定なり(十日チタにて)

▽破壞された街　に管絃樂

正午大庭師團長はイルクツク市に於ける軍團長エルシルツ少將以下知名の士百數十名を招待して午餐會を催し記者團は武藤少將の招待に係るセントラルホテルの午餐會に列した、同ホテルは當市一流のホテルで建築と云ひ設備と言ひ、タのセレクトホテルに比し劣らぬ

▼管絃樂に浮　かれ甘い我々は破壞された街の最中で歡樂に耽る男女の群が白晝公然出入りしつゝある光景に驚かされたが、物資の窮迫其極に達してゐると言はれてゐるイルクツク市で最も美しい食卓に就た事に二度吃驚した、ホテルを出た一行は頭首前の劇場を一寸覗いたが之又露西亞式の執拗に濃厚な場面で終始してこても野蠻な君士國民は看ては居られない、二幕目には洋食の後に天扶羅を食はされたやうな氣分で退却して了つた、國が亡びんとする秋に當つても肉慾の天國に憧がれてゐる露國民は大きいと言へば

◇菊花に行幸啓

天皇陛下は皇后陛下御同列にて廿日午後一時赤坂離宮に行幸啓あり菊花を御覽ぜらる可し(東京特電)

◇皇太子殿下　御風氣御快癒

皇太子裕仁親王殿下には先般來御風氣にて高輪御所に御靜養中なりしが十八日御床離れ御出され十九日午前十時三十分宮中に參内あり兩陛下に御對面正午御退下相成りたり(東京特電)

◇支那學生の祝賀行列＝北京の戰捷祝賀會

◎ノーベル賞金はレント光線の發明者バークラ氏へ

千九百十八年度物理學上の功績に對するノーベル賞金は分子の特質的レント原線の發明者たるエジンバラ大學教授バークラ氏に贈呈さるゝに決せり(倫敦電報)

◇東伏見宮殿下

ローマ御訪問

崇高なる御風格に接し伊國民狂喜す

東伏見宮殿下は隨員を從へ十五日羅馬著ザヴォイア殿下の出迎を受けられ午後首相オルランド氏を訪問ありたり、皇帝陛下は慇懃を極めたる御會見の後殿下と御會食あり十六日羅馬政府は殿下の爲め歡迎會を催し伊國皇族及數列席せり伊國民は殿下の來訪に狂喜し崇高温雅なる御風格は伊國民の愛慕措かざるところなりと(羅馬電報)

◎石川畫伯　滿伯石川寅治氏は大連より來奉料亭金六に滯在中なるが一二日滯在の上長春に向ふ豫定なり(奉天特電)

◎寶玉輝く御枕時計

＝方子女王殿下御婚儀用寶飾品＝

床の間御用品としては銅銀製の三疋鶴及び銅銀製小鳥の置物

梨本宮より方子女王殿下御婚禮用品として御買上げ相成りたる御品中指環は將來のみにして置時計其他貴金屬數十點は天賞堂に御下命相成りたるが置時計は

◇日本　にて種々裝飾を施した、瑞西製白石時計一個瑞西製赤貝置時計一個佛國製小型一個色七寶入り一個合計三個にして總て卓上に置かせ給ふ物のみ枕時計としては佛國製四方硝子の美しき物を御用命あり又腕時計二個は瑞西製十一型金時計の輪廓に無數のダイヤモンド、ルビー、サフイヤ等を

◇鏤め　金網代形腕鎖を附せしもの變型の周圍にダイヤモンドを配ひたる網代形腕鎖付等なり外に懷中時計として瑞西製十型石入り金鎖付二個御用命あり床の間用として銅銀瓦に銀並に膽銀製の箱の置物、鶴三疋の置物膽銀製植木鉢に小鳥の置物の三點にて

◇帶止　は翡翠其他を以て調製せるもの數點に上りたるが以上の品は同店より納入濟のもの〻みにて花瓶其他も總て御下命ありしやに拜聞す

▽御洋服

絹地天鵞絨の御外套等

梨本方子女王殿下の御婚儀洋服の調度を承はりたる横濱市山下町三十六番地洋服裁縫店雲祥榮號蔡芳洲語る方子女王殿下御成年服を召させらるゝのは今回が初めてでございますから

◇式服　夜會服、接見服、旅行服訪問服等一式ですが外套は絹地天鵞絨クリームシーホンベルベツトコートにて宮家から御選はしになつた貂の皮を著けたもの並に參內の節の御召服に用ゐる際飾りクリームツーレーンと外にクリーム羅紗地外套の三點で裏は全部繻子を用ゐる次に禮服はクリームネツトリースインプロエドリユービンクシヤテー、イークレツプ、ルイズキンドレツス接見服は淺黄地及びローズ色旅行服はグリンクロスコンスキンで何れも

◇服地　は宮家から御贈進になつたものです夫から夜會服は白のベルベツトブロケツトイブニングドレス及び訪問服は海老茶コードシルクドレス以上外套著から全部廿六點を調製するのですが母宮殿下に於かせられても前々から數種の御下命がありましたのは多分今回の御慶事に御召しになるもの〻拜察して居ります(東京)

◎兩中尉昇進

一般飛行機より墜落せる高橋飛行兵中尉飛松騎兵中尉は十九日孰れも大尉に昇進正七位に叙せられたり(奉天特電)

◎蟻の如く

勤勉な

臺灣の土人

總督府醫院長　芳賀博士談

臺灣の産物中主なものと云へば先づ米と砂糖とであるが中砂糖は南部に米は北部がそれで中部地方で米、然も年に二回の收穫がある、この三つは臺灣に於ける物産中の大宗であるが別けても砂糖はその尤なるもので製糖會社許りでも十一からある是等の會社は臺內に産出する原料によつて製造に從事する許りでなく盛んに

▣瓜哇邊の　粗糖なども入して再製に從事して居ると云ふことだ臺灣の産物中重要なものとしてはこの他に樟腦がある、是は朝鮮に於ける人蔘の如く臺灣總督府の直營になつて居るが總督府は年々是によつて尠なからぬ利益を收めつゝあるとの事である、又方では臺灣人のこと俗に本島人と云つて居るが彼等は總て對岸の福建省や廣東省邊から出稼ぎに來た支那人である臺灣が

▣我版圖に　歸すると共に彼等は當然日本人になつた筈であるけれど實際はまた支那に頭腦をむいて居る者が尠くないので統治上種々不都合な事が往ずる事もある相な、この點は當局者も非常に遺憾とし朝鮮の現狀を見て大いに羨ましがつて居るやうである、然し臺灣人も勤勉なところは流石に……

▣……され　て了ふやうな……

◎倫敦巴里間空中

連絡

軍用飛行機を利用して乘客輸送

巴里來電＝英佛資本家は倫敦巴里間に於て毎日乘客輸送空中飛行を爲すの設備を施さんことを協議しつゝあるが飛行機は戰爭中投彈襲擊に使用せられたる高速力のものを使用すべしと(東京特電)

◎一萬二千圓拐帶

犯人(信川局員)逮捕さる

◇赤行嚢遞送者を胡魔化して……

十一月十六日午後二時黄海道信川郵便所より載寧郵便局へ現金一萬四千四百圓遞送中信川邑內の出口に於て信川局事務員金炳珠(二三)が馳せ來り現金遞送に關し間違ありとて遞送人を呼び止め行嚢を開きて在中の赤行嚢より件の現金を引出し其儘行方不明となりたるを以て警務官憲にては非常線を張り犯人取押へに努め一方全道に其手配中なりしが二十日仁川に於て龍山憲兵分隊の手に依り逮捕されたるが本人は現金六千七百圓を所持し居りたり尚ほ右事件には信川憲兵分遣所傭人崔善德同傭人通譯李錫柱の二名共犯者なりしが崔善德は金炳珠と共に仁川にて逮捕され李錫柱は居住地にて所轄憲兵隊の手に逮捕されたり

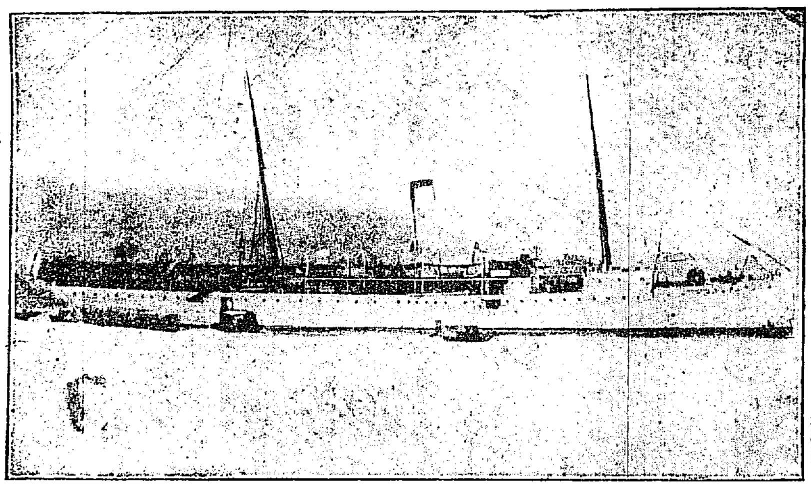
◎博愛丸衝突す

下の關航行中社外船と六連島沖にて大損傷を負ふ

十九日朝釜山を出航せし關釜連絡船博愛丸は下ノ關に航行中社外船と衝突せし旨の情報京城某所に入れり損害不明なり(明治卅一年十月英國にて建造日露戰役當時赤十字病院船として有名な鋼鐵船なり噸數二千六百卅二噸)

△十九日午後六連島沖にて連絡船博愛丸は社外船と衝突し船首に大損傷を生じたる爲め二十日夜釜山發連絡船は缺航す(釜山特電)

△連絡船不接續　關釜連絡船博愛丸十九日衝突の結果二十一日朝京城着の內地方面郵便物は接續せず



◇衝突したる關釜連絡船博愛丸◇

◎佛國傷病者救濟の爲に

朝鮮で資金募集

嚴冬將軍の襲擊をうけて戰ひ以上に苦しんで居る西伯利出征及び歐洲戰線に於ける佛國の傷病者並に遺族の救濟の爲めに京城駐在佛國副領事ガロア夫人を委員長に佛領事エー、ガロア天主敎司敎ミユツテル、松永京畿道長官夫人峰子、國分司法部長官夫人ね子、持地遞信局長官夫人和歌子、久水外事課長夫人……子、金谷……尹夫人安子の諸氏が賛助員となつて屢々會合協議の結果今回朝鮮全道に亘つて救恤金及び物品の募集をなし是を以つて救濟の資に當てる事となり目下着々準備中の由でそれには金錢は勿論物品(衣服、下著、繃帶等)にても寄贈を受くる筈なりと

◎贋書畫事件判決

松井は懲役一年で執行猶豫

世人の耳目を聳動せしめたる平島茂藤治外五名に對する贋書畫事件判決は二十日午後二時金川判事係にて第二號刑事公判廷に於て左の如く判決言渡しありたり

▲被告松井吉松懲役一年(二年間の執行猶豫)

▲被告平島茂藤治懲役二年未決拘留九十日算入

▲松隈四郎及び田村宇吉懲役各一箇年(四年間刑の執行猶豫)

▲加來大藏懲役六箇月(二箇年間刑の執行猶豫)

▲長谷部七次郎懲役八箇月未決拘留二百十日算入

◎戰勝祝賀の旗行列

外人團四百名　廿五日に擧行

戰勝の喜びは祝盃位では物足りない何か大々的催しをして心行くばかりの交歡を爲したいと云ふので當地在留各聯合國外人團四百名は廿五日各國旗を打振りながら旗行列をなす計畫をたて目下夫れ〳〵準備中だとの事であるが該行列は先づ吾總督府を訪問して祝意を表し夫れより各國領事館を訪ひ解散の筈なるが當日は朝鮮ホテル滯留外人も之れに加はるべしと

◎成田校長の遺骸　京城高等女學校長故成田忠良氏の遺骸は廿一日午前九時廿五分南大門驛著列車にて送還さるゝ筈なるが學校にては各級より總代を出し驛まで出迎へ全校生徒は校門前に整列して見送りをなす由なり

◎李憲珪氏葬儀　京畿道警務部警視李憲珪氏の葬儀は廿日午前八時自宅出棺南大門驛前にて告別式を行ひ直に南大門驛發列車にて郷里素砂へ運びたるが臨湍警務部長の弔詞あり關李王職長官松永京畿道長官前田外各課長尹澤榮侯尹德榮子李完用伯李秉武子韓……民間男外數百名の會葬者ありたり

◎慈善市(バザー)

出征軍慰問の爲め聖公會でやる

市內南米倉町日本聖公會にては西伯利出征吾軍が嚴冬將軍と戰ふ苦衷を察して之が慰問の方法講究中の處會員諸姉の眞心こめた作品數百點の慈善市を開き其賣上金を以て慰問袋を作り出征軍に送る事となり關屋學務局長の後援を得て愈二十二、三の兩日午前十時より午後四時迄同敎會に於て開催する事として作品は何れも手製のシヤツ、靴下、足袋、刺繍、子供の頭巾おもちや其他數十種にて何れも即賣する由なれば定めて賑ふ事なるべし

灯

……れたことは當時外道し……た通りであるが、其の際……方の住民が歡迎したことは非常なものである▲或る地方では特に歡迎の隊歡迎委員さへ設けて兵隊の爲めに徹宵篝火を焚くやら、馬に飼秣を與へるやら大騷ぎの各戶國旗を掲げるなぞは云ふまでもないが、中には兵士一統に餅を振舞ひ、曹長以上には特にビールを饗應して勞を犒らつたところもある▲又或る家で米一升に牛肉を買込んで軍隊の宿泊をいま〳〵と待ち設けて居たが、何故かその家には一人の兵士も泊つて呉れなかつたので主人公は大不服▲早速隊の本部に押懸けて行つて談判した結果漸く二三人の兵士に泊つて貰ふことになり、『是で牛肉も無駄です』と……を轉がして悦んだと云ふ話もある相な……とは當時演習に參加した某將校の話……

京

新劇　左甚五郎

大阪日日新聞　第三　大秘密　新派劇　花時雨　於黄金館

京日讀者優待券　(一枚二人共通)　十一月十九日二十日二日限

劇引　一等三十錢　二等二十錢　三等十錢　…　通背　一等五十錢　二等三十錢　三等十五錢

京城日報社

演藝案内

本町一丁目　電話一〇五〇　壽館

十一月廿一日より二日間日延なし　講談界之泰斗吉田梅幸氏來る　〇乃木大將陣中の訣別〇家庭教育　生さぬ仲〇車神橋中佐の生立吉田梅幸氏獨演

一同氏の諸談は武士道を吹込むやら……

早川演藝部直營　有樂館

電話(壽)二〇……　十一月廿一日より特別大映畫提供

米國ユニヴアーサル會社特作　▲大悲劇　署長と火消　全二卷

米國ユニヴアーサル會社特作品　ロビンソン總島漂流記五千呎

◎大悲劇　耕す乙女

茶屋場より山の段迄

大喜劇　新荷蓮　全三場

明治町二丁目　電話二六〇番　浪花館

大阪一流女義大夫竹本長廣大一座

大日本活動寫眞會社京城一手代理店　電話(晝間)二六六(夜間)二六七　黄金館

◎十一月二十一日より　◎明るの大寫眞

覺永三馬術

大秘密

日本活動寫眞株式會社代理店　櫻井町　電話八七三　大正館

◎三度目　全二卷

◎妖雲　全三卷

◎迷の雲　全三卷

◎一寸德兵衛　二百五十場

心の錠　全四卷

本町五丁目　電話三三八　文樂座

九州大角力大江山一行　十一月十九日より三日間　午後五時　…

株式名義書替停止廣告　十一月廿日より定時株主總會終了の日迄本社株式名義書替を停止す　朝鮮製絲株式會社

結核專門　古賀病院　九州線鳥栖驛ヨリ四丁

洋鐵　鋼　洋釘　浪平板　鉄力板　亞鉛線　眞鍮線　銅板　地金　京城　大京城　久田　福

贊化病院　京城明治町一丁目　電話二四番

内科　小兒科　入院隨意　毎日五名を限り施療す

醫學博士　古城憲治　金澤醫學士　打田義芳

◎訂正　二十日掲載三越呉服店廣告中商標◇は㊀の誤植に付訂正す

かぜねつに一番よくきく　キナピリン

感冒　熱病　頭痛　インフルエンザ　リウマチス　肋膜熱　マラリヤ等に大効あり

價　十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓

本舗　大阪市堂島元網前　高橋盛大堂藥房

到る處の藥店に販賣す

★戰線にある大庭第三師團長（記事參照）

◎酒の大庭師團長

勅を奉じて馬を貝加爾に前めたこ　車中に豪語せる將軍の大得意

大庭師團長の酒豪なるとは陸軍部內でも有名であるが、今度の管內巡視中でもチタ、イルクック往復七日間殆んご酒氣の絕間がなかつた、チタ出發の當日の如き醉歩蹣跚として從軍記者の客車を襲ひ『我輩は酒は呑んでも名古屋の酒でなければ呑まぬ』之からウラルへ進むでも名古屋から取寄せて大いに醉ふ心意だ』と灘の生一本なごは哀れ馬の小便こ流され『我輩は東部戰線から聲明を命ぜられて引揚の際新聞記者驛に策こして西伯利から東京まで酒を呑み續けて居ね、終日終夜ごろ〳〵になつて居た、大分せ等の間に評判は惡かつたが、踏晦策け巧く行つてねこう〳〵尻は出さなかつたよ』と酒豪振りに驚かし果ては『我輩は

忠義の爲に酒を

呑む酒を呑むこ戀後の魂が確乎してね』ご酒の有難味を說く始末に酒にかけては豪傑の多い記者連も酒に捲かれて師團長の氣焰だけに壓倒さるゝかご思はる、貝加爾湖畔を走りつゝある時師團長は醉眼を睨き、貝加爾湖を睥睨しつゝ『大庭次郎勅を奉じて貝加爾に馬を進めたり、終生の愉快である』と

會心の笑を浮べ

た、醉將軍の得意想ふ可しである、スレーヂャンカ驛に著して師團長から各自歌一首以上を作る事若し命に從はざる者は銃殺に處す可しこ土地柄物騷な嚴命が下つた、從軍記者及び新聞記者二十數頭顱惱り出した、和歌、俳句、詩、都々逸等

七十句に達した

師團長の『酒戰激く將士困擾して寢る雪の中に貝加爾湖御旗ひら〳〵今朝の雪』など何れも殿樣趣味であるがこれ眞面目、得意の場合を歌つたものであるイルクックから歸りの列車では金メートルを上けウエルフネウジンスクでは構內に兵卒を集め最も愛誦する處の『青年の歌』ご歌はせ自ら之に合唱し愉快に絕えざる

戰塵

正規軍と嚮背

セミヨノフ軍務大臣たらず

ホ將軍の極東總督任命はアタマンセミヨノフの現況に照し趣味ある問題こなり居れるが目下の狀況にてはホ將軍如何に極東の總執政官なればこてセ氏が其の立場を失ふ如き事なくホ將軍は極東三州の總督こして其の權能を以て果して極東に散在する所謂正規軍を其配下たらしめ得べきや、又正規軍は彼れの配下たるを欣仰するや否に此れの正規軍の乖離趨向は彼れが運命を左右すべき分水嶺たらずんばあらず目下ホ將軍の軍事補佐官をセ氏たらしむ可しこの說あり之れホ將軍は名實兼備の總督たるを欲するが故に斯くは傳へられたるものにして彼等の私交に照せば絕對に之れ非ざる處なり然らば如何にして此の誤謬を讀みしかと答は曾て將軍イワノフ、セ將軍こ面接の際セ氏の部下たるフルーグ大佐を軍事補佐官たらしめんこし其の希望を語りし事あるに起因すこ（哈爾賓）

チ軍買收否認說

チエック軍の勢力は甚だ非にして其半數は猶太人に買收せられ過激派軍の部門に降り他の半部は之が制御に努めつゝありこの說あり之れ果して然るか之に就き此の報道の誤りなるを信ずるこ共に或る者の誇大せられたるを信ずこの嫌疑あり之れに就き一有力者は語つて曰く由來猶太人は西伯利に蟠據し大商人資本家は殆んご總て彼猶太人と稱して可なるの狀態にあるも自己擁護の外決して祖國の爲め民族の爲め其私財を投打つが如き人種にあらず然れごも今回の革命をなせしは彼等にして北過激派乃ち猶太人ご稱し能ふ穩者の關係は影響相俟ふものにしてチエック軍にも猶太人あり、かゝるが故に單に自己擁護の爲め其の財政を援助せし事あるも決して國利民福の爲め此の擧を爲せしものにあらずこれ財政援助が誇大視せられ遂に買收說こして報道せられたるものなる事を信ずるものなりこ（哈爾賓）

☆戰線より

從軍記者　早川磐溪

◇物資の供給◇ 被服ご靴其他

日本全權經濟救濟班池田氏一行浦鹽著フエタ通信局の報に依ればシベリヤへの輸送貨物は已にハルビンより發送せられつゝあり追つて浦鹽よりの輸送も開始すべし而して貨物の重なるものは洋服、靴其他賣却價額は一定せざるも多分密價良好に傾きつゝあるを以て案外騰價なるべしこ

◇過激派蠻虐◇ 多數支那人死傷

過激派はウラル附近に於ける支那勞働者をして强迫的に動員せしめんこせしが支那人は飽くまで之に反對せしため三百名程銃殺せられ其他にも重輕傷を負へる者多數ありたり

◇乘客多數にて◇ 乘車券を賣らず

滿洲里驛に於ては乘車客三千に達し列車連結不可能に依り哈爾賓にては乘車券の發賣を停止せりこ入電ありたり

◇日本人に賣る◇ 浴場と製材所を

イルクツク市ベトロフ氏（露人）は今回日本人に浴場を賣渡し又クルバトフ氏は製材所二箇所を六百萬留にて日本人に賣却せり

◎來るべき經濟戰

…悲觀か…樂觀か…今後の財界…

…貿易…定期市場…諸工業…造船…

◇講和來の聲は夏以來度々傳へられたるが先づ明春三四月の交に至りて休戰成立すべしこは一般の觀測なりしに事實は意外に早く休戰こなり何れも意想外に驚き居れり殊に獨逸の無條件降伏的なるに及んで更に一驚を喫したり

◇講和來の聲は從來三定期市場を脅かしたるに今回は反對に强材料こなり各市場こも近來になき波瀾を惹起したるは全く一時の人氣相場に過ぎざるこは云へその到來の早かりし爲めに周章したる半面を物語るものこ云ふべし

◇次いで來るものは財界の悲觀時代なり戰後樂觀論者は戰後兩三年間は各國こもに銳意國內の秩序回復に努力し輸出貿易に力を致す事能はず故に我國は當分此好況を持續し得べしご樂觀せごも斯の如きは一を知つて二を知らざるの言のみ三千億の戰費は何れに依つて償はるべきや聯合國ご云はず獨逸ご云はず夥多の內外債は對外貿易に依つて始めて償はるべし

◇然らば戰後の經濟戰の如何に激烈なるべきは想像するに難からず日本の考慮すべきは時局の問題のみなれご各國とも兩三年の後に此擧に出づるご考ふるは餘りに樂觀に過ぎたるものにして恐らく半箇年乃至一箇年の後に現はるゝを以て至當こ見るへし而も其影響する所は戰時の好景氣の反動こして我邦の如き最も大なるべきは又疑ふの餘地なかるべし

◇我邦の戰時事業は殆んご總べからざる勢ひを以て擴張したるもの果して維持し得るべきか、染料、造船、鐵鋼、各種機械工業等何れも各國が爲す能はざるに乘じて他國的に勃興したるにあらずや殊に輸出貿易の如き消費者は優秀にして安價なる他國品の輸入杜絕したる爲め不已得本邦品を需め居れるの狀態に在るもの尠からず

◇既に早く造船界には新註文杜絕し大造船所の如き來年度の契約を了せしものを除き小造船業の如きは遠からず註文船の建造なくストックボートの如きも海運界の前途豫想すべからざるを以て建造する能はず寧ろ休業するに如かざるに至らんこしつゝあり

◇染料業も全く試驗時代を脫せず只ブラックを除きては米國品に對する能はざる現狀なり若しも一蹴し去らるゝ事想像に餘りあるば一鐵業の如きも原料を得る事比較的困難なるを以て米國にして鐵の解禁を爲すに至らば之が打擊決して尠少にあらざるべし

◇斯く感じ來れば戰後の經濟戰は我邦の敗戰に歸する事火を睹るよりも明かなるものあり明春に至りて講和愈々成り各國の經濟戰に對する計畫の發表せらるゝに至らば我國經濟界は戰はずして畏怖するなきを保せず之に對する我邦官民の決心や如何（在阪一記者）

◎郵便檢閱廢止

支那政府に於ては獨逸國交斷絕以來在支敵國貿易家の或は軍事的秘密が漏洩せん事を恐れ各地郵便局に檢閱員を派遣し敵國貿易家の信書を檢閱せしめ以て疑ひあるものは沒收しつゝありしが張奉天督軍も亦特に專員を派遣し郵便總局內に檢閱處を設け專ら哈爾賓以北に到る郵便物の檢査を行はしめ居たるが這回休戰條約成立したるを以て張代理督軍は向後郵便檢閱不必要ごなし去十五日より該檢査を停止せしめたり（奉天）

◎奉天に兵器廠

張奉天巡閱使は多年奉天に兵工廠を設置し以て奉軍の兵器供給に便ならしめんこ計畫しありし事は已に數回傳へられし處なるが經費其他の關係上未だ成立を見るに至らざりしが這回入京を機こして徐大總統に對し該兵工廠を設立し專ら軍防を鞏固にすべしこの建白書を提出したるが其の條例辦法等極めて明細にして極力其必要を力陳し造幣局を改造し三省軍用に營し併せて必成を期する意氣込なれば或は近く實現を見るに至るべきかこ云ふ（奉天）

◎奉天製鐵火入式

過日來建築中の奉天製鐵所は他工事進捗中なりしが愈々完成を告けたるを以て十七日午前十一時火入式を擧行し式後關係者一同を料亭鹽に案內し午餐會を催したり（奉天）

罌粟栽培に就て

淸州にて　靑丘生

近來各地に於て罌粟栽培の有利なることを云ひ爲し特に忠北道の如きは專ら罌粟熱高く栽培出願者頓に增加の傾向あるが此多くは根據なき浮說に雷同して定見なく出願し、殆ご打算的に收穫後の考慮の如き念頭に置かず而も收穫物は何處誰れにても自由に賣買し得るが如く誤解せる者あるに至つては眞に危險にて斯業の發展上寒心すべき事なり

元來朝鮮に於ける罌粟の栽培法は北鮮地方に多くして當地方は今年始めて保寧郡方面より漸く一部に栽培熱を生じ忠州堤川郡方面よりは當業者の團體より代表者を派して之城、斯業家に指導方を懇願する等中には面目なる熱心家もありて栽培熱は逐次高潮に達し遂に忠州に於ける者相踵いで其數を增し遂には忠州專賣局出張所の如きも忠州憲兵分隊ご協力して之れが制止に努めたる位なり是れより先き道務部に於ても罌粟の研究に着手し取締方法に就ても各方面に亘つて研究の結果昨今已に發令する迄の運びに達したるやに聞く其內容は未だ知るを得ざるも恐らくは指導的保護的のものならんと信ず然るに當地方內鮮人間に專ら取沙汰さるゝ處に依れば新規則は『誰れにても栽培を許可する』方針なるが如く思ひ居る者多く夫々出願準備に急ぎつゝある如くなるも事は決して然らず何等取締上の制限なく一般的に許可する如きことは斷じてあり得べからざることなり若し斯くせんには鮮人の射倖心を唆り定見なしに勵を入れ例令一時にせよ驚くべき耕地面積に達する事今より想像に難からざる處要するに罌粟の如き特殊取扱を要する藥草の栽培に當て需給關係をも考慮する事なく徒らに着手して收穫後消化の方法に窮せんか當事者の手にも乘せられ大損害を招くか或は法を犯すもの少なからざるべく故に投資者は豫め消化の方法を講じ置くこと肝要ならん

◎掉尾の餘興と演習

飛行…毒瓦斯…火焰放射砲…防毒

……大邱に於ける慶北第二回物產共進會閉會式……

去る十月卅一日より開會の第二回慶北物產共進會も日々頗る盛況にて最も有益に所期の目的を達し十九日を以て愈々之が會期を畢るを告ぐるを以て同日午後一時より會場に於て之が閉會式を行ふ事こなりたるが當日は今次共進會餘興中の花なりし山縣飛行家の巧妙輕快なる飛行も亦此日を以て終りを告ぐる事なれば之が最後の飛行を飾る可く山縣飛行家は掉尾の勇を振ひ機上より

◆爆彈投下　の實況を一般に觀覽せしめ尙又大邱步兵第八十聯隊にても此機を利用し多數群衆に對し軍事思想鼓吹の爲め練兵場にて演習を行ひ一般の觀覽を許し

◆新式軍器　の說明をも爲したるが同日練兵場に於て毒瓦斯放射器、火焰放射器を放射せしめたる地を占領したる敵に對し步兵及び機關銃隊聯合の實彈射擊を行ひ午後一時より攻擊準備を整へ同卅分より攻擊を開始し防毒假面

◆鐵兜手榴　彈を以て敵に攻擊演習を行ひ此間喇叭、鉦、衛生隊の演習をも實施するものにして尙ほ歐洲戰に鑑み新式兵器の使用法をも實見せしめたり附近は人山を築き盛觀を呈せり因に二十日は例の如く特に一般に對し無料觀覽を許したり（大邱）

◇祝賀會◇

大邱は共進會場にて

各地に於ける取り〳〵の趣向

大邱に於ては去る十八日午後二時より北共進會場に於て慶北官廳、大邱府、大邱學校組合、大邱商業會議所各團體主催の下に內鮮官民合同休戰祝賀會を催したるが集まるもの無慮一千名、一同入場着席するや先づ樂手は君が代の曲を吹奏一同最敬禮を爲し次いで鈴木慶北長官は開式の辭を述べ次いで在鄉軍人代表者一同を代表して祝辭を述べ代表者亦共に祝辭を述べ同時に萬歲を三唱し祝杯を擧げ四時散會せり、尙當夜は市民の祝意を表する爲め各戶に國旗を揭げ提燈行列を行ふ筈なりしも惡疫流行の際こて中止する事こなれり（大邱）

◎釜山は來る廿一日

釜山に於ける休戰祝賀會は釜山府廳及び商業會議所主催にて二十一日午砲を合圖に官民合同の大祝賀會を龍頭山公園上に於て開催の事に決したるが當日は各官臨時休業の筈なり同日は一圓會費にて公園上に立食の宴を張り中學校以下各小學校生徒の旗行列を行ふ計畫なりこ云ふ尙夜間の提燈行列は惡疫流行の際なれば晝間のみこ決定したり（釜山）

◎木浦も近日擧行す

木浦にては銀行會社發起こなりて近日休戰祝賀會を擧行する筈（木浦）

◎倒產者多し

銀の下落にて

昨今銀相場下落のため四平街にては相當に門戶を張り居れる支那商人の家產を傾けて夜逃をなす者多く爲に一般の經濟界に及ぼす影響少からずこいへり（四平街）

◇淸州◇

▲市場擴張　淸州の米產地は淸州である一般に致して米こして各地に廻送されつゝあるが大部分は忠北の各所から集まつて淸州市場で取引をした米である故に鮮市頗る商取引が敏活で穀物期になると一日數萬圓の取引があつて北雜者に劇しい斯く市場の狹隘なる爲め米穀市場を擴張することゝなつた仍て在來の市場は小賣業者專用こして新市場は大取引をなすこゝした經費は約七千圓で二十四日頃である之に近所の家を斥けて六棟三十六商店の工事に着手するこゝなつて已に工事中である、市民一般も歡迎の意を漏らして居る▲度量衡取締　淸州署に於ては從來慣行上不正確なる取引を勵行すべく署長は近々鮮商人を集め內意を漏らし愈々實行するに至るべく相互間に於て正確なる計量の取引こし從來の惡習を改め法規に準據するこゝこなるべし

◇晉州◇

▲石油　不當の暴利を貪り警察署の警告を受けし石油業者は協議の結果十三圓以上に販賣せざる樣申合せをなし警察署に屆出で承認を求めたるが警察部にて目下各地の原價取調中なるを以て未だ價格の干涉はなさゞるも現在松箱七圓九十六錢勝利九圓四十九錢庫出價格即ち木村指定の販賣價格なれご現在の諸物價に比し市場の狀勢より察して十二圓位が至當を認むこ當業者は語る尙ほ日韓商會は現在十一圓にて販賣しつゝあり▲漬物の大根昨年の三倍　漬物の時季となりたるが本年は水害及び氣候の順調ならざりし結果稀有の凶作にて自然價格も昂騰し內地人側の需要では昨年十貫六十錢內外なりし大根が本年一圓八十錢に昇つても容易に手に入らざる有樣にて昨年三圓五十錢を唱へし漬物一樽六圓內外を要し臺所豫算の混亂を來しつゝあり

（浮世さまぐ）

◆◆北鮮は石炭の飢饉◆◆　淸津にては市中に石炭が切れ一部官廳會社大商店等は皆へある所以外喫煙が焚けず殊に湯屋は大迷惑を被り湯が沸ぬ爲浴客を斷り居れり◆◆五日間に死者百人◆◆今度の感冒にて大邱分隊管內の城郡（五面）にては十二日より十六日までの死亡者百六人に及べるが昨今は漸次終熄を見るに至りたり◆◆火災保險を切望す◆◆間島にては消防器具も相應に整ひ居れるに拘らず未だ何處の火災保險會社も手を付けざるゆゑ土地の者は只管火災保險を望み居れりこ◆◆慘憺たる廢驛の狀◆◆淸會線會寧驛は鐵道工事中非常に賑ひ側の料理店は悉か郵所迄出來しも工事完成こ共に廢驛こなり今は僅二三戶の寒村こ化したる由

大邱見物（八）

貫つ黑い鼻の穴

一世生

ヤレ〳〵くたびれた、見る役目も朗々容易な仕事ぢやないが、而し切腹見屆けの檢使の役目でなくて仕合せ、殊に川流れや、首縊りの檢死でなくて仕合せだ其に比べると先づ安全な方だこ阿呆らしい事を考へつゝ二階に胡座をかく。長い樣で短かいのが秋の日こ人の命で最うソロ〳〵暮かゝつた、オイ忘れて居たッけ、何でも今夜は大和こか云ふ處で宴會がある筈だ。ソロ〳〵出掛よう。其れ又電話だ車で行かう。

玄關には幕が張つてあつた、控へ室へ行くこ最う先客で賑つてゐた一體宴會には大分時間の懸け値のあるものこは通り相場であるが、此夜の宴會に時間通りお客が集まつてゐたのは大に氣に入つた、實を申せば拙者等が聊か遲れ氣味であつたのは、恐縮せざるを得ない一體宴會こ云ふものは、鳥渡した氣合で、主客共に非常に愉快に感ずるものだ。

茶を一服やるかやらぬ間に、何ぞ早速ゾロ〳〵彼方へこの御案內、停車場の改札口を通る樣に敍付の匠々が廊下に行列を作る、宴會場は丹尺形で却々廣いが、殘念に天井が低い。六十いくつのお膳が各々の膝頭の前に配らる、お膳に刺身が付きもの、通り、拙手こエッヘン今夜はご來るのが不可でも定相場だから仕方がない、其から後はがや〳〵こなる、其處でも此處でも頭の下げくらべが始まる、煙草の煙が深々こ立ち罩める、鼻の穴をツッこほらつて見るご眞黑い、人樣の鼻の穴は大きいこ見ねて、平氣で御座る、オヤ〳〵大變頂戴しましたご、そこ〳〵に退却して玄關を出てプンご鼻をかむ心持のよい夜風がソーッこ顏を撫でる、未だ宴會は大分賑やかだ、ブラリ〳〵こてくるこ、月のない夜は闇で、い、氣持だ、醉つて沙上に臥す君笑ふ勿れ、オイ姐さん歸つたよ茶漬を一杯願ひたいね。

段步一千圓もあがる 藥草栽培
◎庭の片隅からでも ◎大金が儲かる
目下日本政府が奬勵金を下附して盛んに奬勵してゐる各種藥草の栽培は地方郡村の研究であるが多大の收入あり中には畑一反步から一收穫に千圓近くの收金を上げてゐるものもあるそれだから一坪の土地でも利用すればよき副業內職となる殊に人に先んじて之を栽培し種苗を取て賣れば大金が儲かる又野原に繁茂せる野外藥草でも之を採取して販賣すれば資本なしで一ヶ月五十圓內外の利益を得ることも出來る其栽培法、採取法、販賣法等は東京神田表神保町日本藥草研究會發行の會員には詳しく書いてある希望者は同會宛ハガキにて申込次第進呈する（至急を要す）

壹千五百組限り
上等毛布
二枚一組一圓五十錢

新式耐水調革
新田帶革
朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
京城 大門外 白神洋行支店
バラタ調帶
定價表申込次第送呈

かぜねつ
面白い程きく
ガキヤヒリン
彼是と手遲れせぬ樣直ぐ用ゐよ
本舖 名古屋 荒川長太郎

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓橫（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

金剛デー
多大なる御愛顧に酬ゆる爲め左記特價提供仕候
金剛飴
金剛山
金剛羊羹
栗羊羹
一割引（凡そ） 十一月二十一日より同二十五日まで
京城本町二丁目 金剛飴 金剛山 發賣元 龜屋商店 電話二七七 四七五番

自動車運轉手技師販賣員短期養成●校外生ご雖莫大の收入あり
東京市京橋區 大阪市西區
東京 大阪 自動車學校
生徒募集 校外生及校內生三百名何人も入學許す規則雜誌送與

營業科目
鴨綠江材並日本材原木賣買
製材（機械挽）
製函
製板鉋賃掛
安東縣六道溝西湖道三番地
宮下木材株式會社
MK
商號 宮下洋行
安東縣出張所 電話一三三番 電略（ミヤ）

眼病にアドラ目藥 各藥店にあり
高峰博士發見のアドリナリンを主藥とせる理想的目藥なりどんな眼病にも不思議な程よくきく。
定價 十錢。二十五錢。
東京室町三丁目 參昌製藥株式會社

全鮮消防組に上納の光榮を有せる
熊平消防
ポンプ
器具各種
京城 熊平支店
振替京城二三一番 電話長三六二五四番

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店
東京火災保險株式會社京城代理店
大阪海上火災保險株式會社
つちやたび並ニいろはたび朝鮮代理店
貿易商 雜貨商
京城本町三丁目 藤富國太郎商店
電話三〇八番 振替京城一七七八番

店員慰勞の爲め
明廿一日臨時休業仕候
京城 三越吳服店

仁川米豆取引

二十日の一月限

◎新義州雜俎

■支廳書記著任　福井縣大野區裁

時報

商況

東京株式特電
十九日後場　先限引値
東株　二三五、一〇
同新　二五一、〇〇
滿鐵新　一一四、七〇
郵船　二〇六、一〇
米拓　―
鐘紡　二七一〇

東京現株中値
十九日
朝鮮銀行　二五六、五〇
同新　七一、五〇
南滿鐵道　一五三、〇〇
第一新株　一一二、〇〇
第二新株　七七、〇〇
南滿製糖　三三、三〇
朝鮮製糖　二二、〇〇
滿洲製粉　八一、〇〇
京城電氣　五八、〇〇
朝鮮瓦斯　二〇、五〇

東京期米特電
十九日後場　先限止め　三十四圓三十錢
二十日前場　先限寄付　三十四圓四十八錢
二節　……

大阪株式特電
十九日後場　止め
宇治川水　五〇、〇〇　……
京阪電鐵　五〇、五〇　……
阪神紡績　五〇、五〇　……
合同紡績　五〇、〇〇　……
鐘淵紡績　五〇、〇〇　二四〇、六〇
同上新株　四〇、〇〇　三九、四〇
東洋製糖　五〇、〇〇　……
大阪商船　三一、五〇　一六〇、六〇
同上新株　五〇、〇〇　一四〇、五〇
郵船株　五〇、〇〇　一九九、一〇
同上新株　五〇、〇〇　……
堂島米穀　五〇、〇〇　……
東京株式　二五、〇〇　……
大阪株式　五〇、〇〇　二六八、二〇
同上新株　二五、〇〇　一九四、一〇

大阪三品特電
二十日前場
十一月限　三四三、一〇
十二月限　……
一月限　……
二月限　……
三月限　……
四月限　三二三、〇〇

大阪期米特電
二十日前場　先限寄付　三節　三十三圓〆五錢　二十錢

兵庫期米特電
十九日後場　先限止め　三三三、七〇
二十日前場　先限寄付　三三、八九

下關期米特電
二十日前場　當限　中限　先限
寄付　……　三六、〇四　三六、三四
高値　……　三六、〇四　三六、三四
安値　……　三五、〇　三六、二〇
止め　……　三五、九九　三六、二〇

雜報

●三品下押す　大阪三品十九日後場は當限三百五十圓先十五圓九十錢なりしが合同の……

●米棉四圓安　阪三 當限は米棉四圓安にて先十三圓と四圓乃至四十三圓下げ綿布は三九圓八十錢にて昨午後さら入れなり

●正米引締まる　正米は大體が農家物擾方の增大せる爲め更角賣惜みの風情なる上惡性感冒流行の影響は地方人夫の拂底を來して新穀季にかけ出穀を遲滯ならしめ且頃日來の天候不良に河筋の出廻り一層減少し內地米及び鮮米の昂騰を傳へし爲め荷主の態度漸次に強硬に向ひつゝあり今朝は日本藏玄米三十四圓十錢在米二十九圓四十錢次品二十八圓七十錢の標準にて氣配は前

●三十錢內外引締 日米 締りより最近の安値より五六十錢高となれり內地高は鮮內の作遲れの出廻薄と不作襟へに買氣を刺戟しつゝあるものにて先々又移出注文輻輳するやも知れず兎に角內容は季節先安氣分の滲めるも當面の出廻にては

●望み難く一寸軟化も眼先甚しき事なきも更に多少の上歩調を辿らんかと思はる

●糯は無見當　糯は今回出廻りらしき出廻りなく配滿次に弱く昨今水原安城三十八圓五十錢烏山物三十六圓五十錢見當にて此兩三日來五十錢方上向きたり本年は諸物價高の影響にて年末買付き如何あらんとの懸念あれば精米筋も未だ準備に着手せるもなし現下並白にて四十一圓處買ひ見込み居れるも離れたる見當立たず

●鮮白デリ高　鮮白は原料高と廻米薄にて氣高く上三十三圓四十錢中三十二圓四十下三十一圓四十錢見當にて兩三日前の唱へに比し約七十錢方の昂騰を告げ眼先尚強含みなり

●鉞力板下落　米國に於ける鉞力板の我が國輸出高は既に本年度の需給見積高に超過せる爲め同國通商局にては今後我國に對する輸出特許を與へざる事に決せしより今後の輸入困難となりしが前約の多かりし爲め夫れ在荷潤澤なる影響は火鉞類の需要のみならず一般金物界の頽勢に伴ひ却つて低落氣配なり入荷の分は最近相場に比し八九圓方の下位を唱へられ居れり

●錫益々不勢　錫は本國相場變らず強硬の報なるに反し本邦市場は在荷の豐富と休戰影響による他の金物類の下落に伴ひて投げ物絶えず人氣惡化の一方なり當市場も現在二百三十圓迄崩落を告げしが大阪相場さへの保算上尚下落の地少なからず月末頃の入品は略ぼ二百圓見當に賣遞せらるべし

●洋釘又下押　洋釘は一時細物の昂騰を促せしが其後鐵材の崩落に一頓挫を來し數日前に至り一圓乃至二圓方反落し引續き不味の商狀を持續し此處更に一圓內外の下押に至れり

●平板眼先安　亜鉛引平板は鐵板安と市況の不振に崩れ又軟調に傾き市中値は此一兩日中に約二十錢方を引下ぐ可き模様なり

●數の子高値　數の子は新物は十貫目四十四圓を唱へられ前年當時十六七圓に比し高値に當れるが原因は産地の不漁にて産額減少せし爲めの影響を加へ居れるものなり

●千瓢は軟弱　千瓢は內地市場に於ける需給緩慢の爲め入荷減切軟化して市中相場は五十二圓五十錢に下落せり尚大阪相場は二十八圓に比較しては頗高に當り居れば高値持品の減退に連れ一段の下押しあるべし

下關相場

▲朝鮮米は底堅し　北後玄米九百五十叺白米三千百三十八叺發送の輸入ありし爲め殆んど先約定物の送り屆けなると産地も其後減切り好調を傳へたるに加へ昨今內地米の出廻り薄にて現物の如き堅調に買覗きもあるに連れ自然市況堅く暴一等鮮米の現物の如き五十八叺許りは總崩し四十一圓十錢に手合せ行はれたり▲小豆は變らず　北後走出帆の赤三百三十八叺滿洲粟百五十俵の輸入ありしが依然産地の人氣惡しからざるに依り市況弛まず安東縣産の赤百八叺は二十一圓五十錢に手合せ行はれたり▲大豆は底堅し　北後大邱産四百叺鳥致院産三百八十叺滿洲産百五十叺元山大豆九十叺等の輸入ありしが當市況は依然として需要旺盛なる爲め引合ひ多く其他は堅調を持續し二十一叺鳥致院産百叺後場にては二十一圓五十錢にて手合せ行はれたり

各地商況

▲京城　朝鮮大豆　十九圓三十錢
▲宜山大豆　十九圓三四十錢
▲大田大豆　十九圓十錢
▲同　二十圓三十錢
▲優良新大豆　二十二圓四十錢
▲探川新大豆　二十一圓五十錢
▲同　二十圓四十錢
▲釜山新大豆　二十一圓二十錢
▲朝鮮一等白米　四十一圓五十錢
▲當用　四十一圓八十錢
▲同　四十一圓丁度

○大邱米況　十九日　大邱米は當限三十四圓四十錢先限三十三圓と小安く入電あり當地正米は連日好勢の機先を示し物價依然として多からず古米も二十五十の小口物のみにて殆ど論議に至りたる氣分漸く穏ありし物氣內に張合かなく先約弗々の騰議にて六百餘個の出來物あり相場は期日に比し小強き保合なるも平均日先に小往來保合なるものゝ如し

釜山穀物市場　十九日
新穀力三等內渡　三三圓二〇
同　來月日渡　三三、五〇
同　十五日渡　三三、二〇
同　月中渡　三三、〇〇
同　現物　三三、五〇
古穀及不都合　三〇、〇〇
出來値

▲新米強硬　今年はさなきだに産地各鮮農達の懐工合良好にて安値にては賣急がず。で賣氣強硬の爲め出回り捗々しからざるの特別輸送にて出廻り減退して矢先き昨今は例の降雨に搗し加へて作今は一向捗々しき物なきに一方在來米は日々減退の一方にあるに地場當用筋は買氣旺盛へずして費行き好々作ら買氣漸く乗りて作角品高なる等にて一般人氣も強く昨日今朝市場に於ても前記の商况し其思惑の如くなる物のみに比し本情の下に賣物は總じ思惑しき品々高となくなるものにて賣一定し其商况の下に於ては現し買氣なる事なし居るもの作ら買氣旺盛なる二十二圓前後のさすがにかゝる一般買ひ上り勢力にかゝりて現時商ひあり捗込み市况は依然上げ調子なる事故買ひ手は盛況を前後して本價連日二十五圓十錢處の出來なり

仁川正米
▲仁川の入津依然多からず相場は保合を唱へ居れり
▲五米は更に高人氣にて不合格米三十四圓四十五錢より上品八十錢にて出來跡定期高に連れ強人氣を唱へ居れり

生魚市場
○京城日丸市場
入荷多からず氣配既遲し
たい四〇ちめたい二二〇ひらす
二六ひらめ二〇かれ二〇あなご
一六さば一〇あぢ一四〇くるまゑび
一三〇にべ一五たこ三〇甲いか
二四〇ふんどし二五さごし三〇
まこ二〇小たい四〇さけ二〇
まなこ四〇小物一三〇

仁川期米
二十日前場（暴騰）
▲第一節　各地前寄未著なるも大阪東京米高移り當地當限先限共に出來不申
東京高移
先二十八圓

丁度三二十六錢高に寄付
▲前場　東京前寄三十四圓四十錢にて當限出來不申七四十錢と押したる押目は買物現れ九十六錢と返し五十錢さ大保合を演じて引
▲第二節　東京前寄二十九圓十八錢三圓に放たるも押目は八十錢と押したるが買物漸く多く五十錢と返して引
▲第三節　當限出來不申二十九圓十錢先七十錢より買物更に多く十九錢と暴騰せしが賣物も漸く多く二十錢と押し四錢と保戰裡に引
▲第四節　當中出來不申先十五

大五仲買店
仁川米豆取引所仲買人
店主　猪倉政太郎
電話自宅長三〇九番
三〇九番

一東二十錢ミ沸騰
錢より賣物多く十二錢と騰したる處急速に二十錢沸騰を演じて引
▲第二節　大阪天候晴前寄二十三圓〇五錢東京三十八十九錢の入電に接し當中出來不申十六錢より十錢と押し

十六錢ミ返
強硬の成行を示して散會

▲前場　當限出來不申七十九錢
中限（圓）二十八圓十一錢
先限一二十八圓七十四圓九十五錢
▲先限三二十八圓七十四圓九十五錢
九錢八錢六錢七錢二錢一錢六十錢
五錢四錢四錢七錢五錢四錢六錢
九十錢四錢五錢四錢五錢三錢三錢
八錢七錢十錢メ九錢二十八圓
六錢七錢十錢メ八錢四錢九錢
三錢五錢三錢四錢三錢三錢二錢
三錢五錢三錢二錢四錢一錢四錢
一十五錢十錢二十八錢十四錢
〇十錢一錢四錢六錢十錢二錢
五錢六錢五錢四錢六錢六錢
五錢五錢四錢二錢四錢一錢
四錢二錢二錢六錢一錢一錢二
三錢四錢五錢六錢五錢六錢

東京期米　十九日
▲前場　中持合の氣先見るべき手合なく九十錢と始まり各限安ながら地場筋の買進にヂリヂリ圓四錢さ引緩み手堅く散會せり

東京期米
仁川米豆取引所仲買人
電話一五八番長一五九番
容川　電話七二〇番

仲買店

大阪期米　十九日
▲前場　高見一派及び株式筋買付出來二派に當然九十錢ご下放れて始まり兵庫東限高に九十八錢迄戻したるも地場の見送りに跡落付模樣となり九十九さ小締りたるも西部の一入買に高見一派猛烈なる賣進に八十九錢さ下押し軟調に散會したり

大阪株況　十九日
▲前場　昨日來事務の折柄東京の安値に買方の利喰急ぎとなり船株類は暴落後の悲觀に少からず賣氣み刺擊し雜株は艦新機械工二紡の三圓乃至六圓安其他も一二圓方低落し指定株館紡六圓船株類二四圓大株五圓三十錢方各低落したり

仲買店
仁川米豆取引所仲買人
電話二八三番一八三番
（容川三五八番）

市場雜觀
▲昨後場は大阪前場同節二圓九十八錢五十七錢八節三圓丁度七節二圓九十九錢五十八節八十九錢東京跡四圓〇三錢兵庫跡五十五錢下當跡九十八錢遅りて未着にて當地當限出來不申先二十八圓八十一錢先付きたる處買物多く七十一錢と押したるが買物多く六十六錢と押し再び七十一錢と跡十六錢と押し又賣物多く七十二圓八十錢ご上伸したるか賣物勢遣つた二節當限不申中八十一錢先六十八錢と大保戰裡に一節なく七十九錢より當物多く七十八錢五錢ミ押し七錢に三節當出來不中中九十錢中八錢さ上押したるか買物多く九十錢と押し五錢と返し六錢中九十錢と押し六錢と返しより賣物現れ六錢と押し八錢ミ押し遣ひ又押し賣物多く七十二錢先七十錢と返し五錢の跡四節當出來不中先七十六錢よりも賣物多く四

市況は
依然買氣旺盛なるも大阪高移りを示しつゝ買物多く在外延硬の成行を示しも引緩み僅しにて遂に一圓以上の大暴騰を演じたり▲市況は依然買氣旺盛なるも大阪高移りを示しつゝ……一節九十九錢三節九十六錢二節九十三錢（十九錢三十錢止め）……

正米高を傳へ
煎れ續出ミ新規買

▲天候晴天今朝各地前寄未著なるも東京高大阪高移りの入電に接し當地當限出來不申二十九圓十錢先二十八圓丁度と上放れに寄付きたるが利喰に新規に買物現はれ七十九錢と押したるも押目は又買物多く東京前寄四十圓四十錢八錢の入電に八十三錢と新規買十二圓〇一錢と押したるが利喰、新規買に十二錢さ押したるが利喰に相場の變動に連れ大商盛にて立合時に遲延を生じたり四節に二十錢さ沸騰し十二錢さ押し五節十錢と押し十六錢と返しして散會したり▲市況は內地の煎れに搗で加へて大手の煎れ續出新規買とあり

物多く出穀の遅々順還高を演ず
仁川米豆取引所仲買人
電話二六二番

物多く遂に二十八圓二十錢の賣に三十錢を押したるが利喰を如何なる程度に傾きて強硬の成行を示したりとも買ふ證據金に準じ出來たる時期に際して出穀の遲々たる結果なるか將た地の賣惜しみに依る知らざるも大雪天作用の爲めか近高の當事者は大に考慮を要する時機ならしても現在正米は先限に買氣を鈍らす程度に昂騰を持續するか

仁川米豆取引所
二十日の一月限

前場
寄付　二十八圓丁度
高値　二十八圓二十六錢
安値　二十七圓八十五錢
止め　二十七圓九十錢

後場
寄付　二十八圓三十錢
高値　二十八圓十六錢
安値　二十七圓九十四錢
止め

平均値段　十九日後場
出來高　二七、八六〇
前日との比　二七、七〇
各節　二七、六三〇

青物小賣相場
出廻り少く消費多く白菜大根長芋等は前々後値段割方昂騰して一葵の如き品薄の爲め更に値上がり其他種物等又高氣配なり

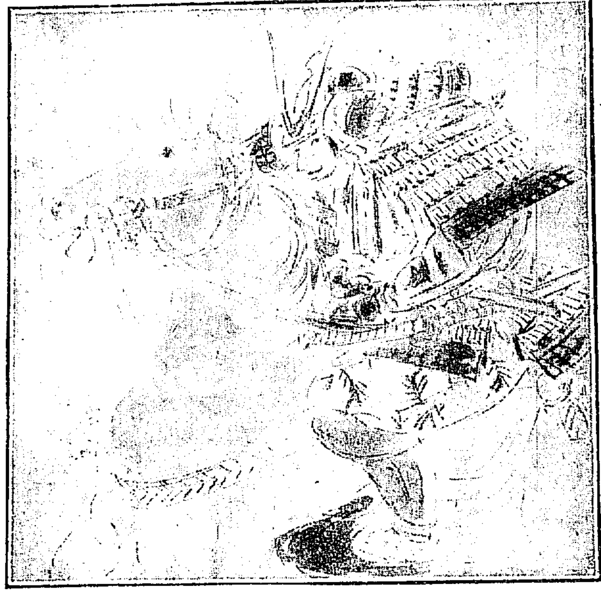
ごほう　五〇にんじん　三〇
れんこん　一〇〇くわい　三〇
こいも　七〇さつまいも　三
じゃがいも　三〇はくさい　五
たまな　四五みづな　六
たかな　六〇ほうれんそう　六
しんきく　八〇れき　三
わけぎ　二〇たまねぎ　六
もやし　三〇かぶ　四
だいこん　二〇つくいも　五
ながいも　二〇うど　四
ゆりね　三五さやまめ　五
わさび　一〇〇しやうが　二〇
あかめいも　六〇三つば　二
かいわり　三〇めきり　三
さまさ　三〇せろり　六
ぱせり　二五やりしな　四
ゆず　二〇だいだい　五

白米標準値
三十六圓

白米小賣値
三十七錢
三十六錢五厘

毛谷村六助　卅六番角力
六十七席　桃川　桂　玉口演
浪上義三郎速記

母里太兵衞は順番を呼出されて素っ裸となって飛し出し土俵へ上る此人六助から見れば五六寸も高い七尺餘り其の身は太らず痩ず恐ろしく目立つ、ヤッと双方立上ると高い方の母里が六助の下で力に任して抱上げる身體を預け抱かれながら得意のカハズ、ズバリ極って又々六助の勝、第十五番目は花房助兵衞、此者は浮田家の家臣に於て每々の戰役に八千餘の大軍を率ゐて主人の陣代を勤むる有名の乘採り、名前は花房助兵衞、弱々しい人だが、小田原征伐出陣の際秀吉公のお顏へ唾を吐きかけて却つて殿下のお賞めに預かりし人物秀吉公小田原の北條征伐の砌愈々大阪城を繰出し今日出陣といふので大手前の廣馬場にての勢揃ひ、人手の御濠際へ棧敷を架け殿下は此處より武者押しの行列を御覽遊ばす、千成の馬印に陣羽織、右に眼に左に出陣の御人數行列美々しく繰出す、其の有樣北條氏康如何なる險固堅城にも籠城も成るべきやヤワカ一月と思ふほど、中軍の大將浮田秀家、兵衞へ、光り一文字の大旗を押立て揃ひの猩々緋に二段の馬印を押立て兵衞は三方見込みの陣代は彼の花房助兵衞、色に白く、觀の出立に揃ひ越に大四半の甲冑も艶やかに一段紅の花の大四牛助兵衞の扮裝は緋縅の鎧に一段紅の龍頭の兜、甲を締め、襟へ緋の陣羽織を着け、伊達を盡した彼の龍頭の大太刀を横たへ、白の毛の驂に鞭を鑑て打跨り、四月毛の華麗な駒に鐙の龍頭を揃へて、四十五百の勇兵を率ゐて靜々と殿下の御前を押し行く、秀吉公は何か可笑しき事あつてか、高らかにお笑ひ遊ばしながら、今福太夫の御舞を御覽遊ばす、押し行く花房の人數はお目にもとまらぬ樣子、助兵衞はお手摺際まで馬を乘寄せその身も大兵、乘つたる馬は十寸に餘る、仰向きながら殿下の鑑面へペッと痰唾を吐きかける秀吉公も驚いて、その者止めろ、何れの陣代ぢや、何者の家來なるか赤い處へ色上げを爲した樣、お側にあつた浮田侯お驚きなされて赤になつて御立腹、元來お顏の浮田に恐れ入り奉ります、私の家來花房助兵衞にござりまする、秀『其方の家來か不埓な奴ぢや、予が顏を汚したる不敬の奴退りでございませう』浮『お怒り處ではない逆礫刑を申付けるこの御意は助オヤく浮『然るを思召あつて獄門となつた助『同じことでございます、浮『然るを又お言葉が變つて切腹申付よこの御意ぢや助『ハアそこで一旦は止りましたかな浮『何んだ嫌止まつこは、切腹申付けべきなれご叱り置くから召せこの御意、再度不埒があるこ予が身分にも拘るぞ、助『イヤ何に何の樣な事があらうこも御身分御家名には仔細はございません、御案內へ願ひます、浮『イザ參れご御前へ召出す、秀吉公最と六ケ敷御顏にて秀『助兵衞こは其方か、助『ハッ、秀『如何なる心得にて、予の面體を汚した、助『恐れながら言上仕りまする、上樣こは心得ません、然し何れ御賢こは存じました輕漂より御登庸遊ばさせられ、今四海の權をお執り遊ばす上樣にかゝる心得違ひはあるべきこは存じません秀『何んこ申す』浮『ハッ』こお答を爲し立上らんこいたす秀『ヤアコレ礫刑こは心得く秀家暫く待て、礫刑申付けよ浮『罪科減輕爲しが獄門にいたせ浮『有難き仕合せに存じ奉る』こ立たうこする秀『イヤ待て、獄門こは心得しが切腹申付けろ』浮『かゝる大罪人へ切腹こは有難き仰せにございます』こ又々立たうこいたす秀『イヤく切腹こは心得しが予が叱り遣はす此處へ引け』秀家侯も涙を流して喜び直ちに御棧敷を下り花房を呼び浮『コレ助兵衞何んこいふこごぢや、其方は殿下のお顏へ唾をかけるなごこいふ、まア不埒な奴ではないか發狂爲したか』助『イエ發狂はいたしません』ヘエーあれが殿下でございましたか、定めしお然



○安東縣近事
▲黑井中將歸旅　東上中なりし旅順要塞司令官黑井中將の一行は十八日午前十時四十分當地通過列車にて歸旅せり
▲關部警務長　關東都督府關部警務總長は十八日午後五時當地に來り一泊の上十九日午前來安安東警務署其他の檢閱をなしたり
▲古藤安東署長　安東警務署長古藤誠藏氏は關部總長出迎への爲め十八日午前十時卅分發列車にて雞冠山に赴き十九日同行歸任したり
▲高橋主任出張　南滿製材公司業務擔當者高橋英記氏は十八日午前十時三十分發北行列車にて奉天及び吉林方面へ出張したるが二十三日頃歸安すべしと
▲浴客の板間稼　十七日午後八時頃安東湯に入湯に赴きたる二番通

めらしき西洋菓子

京城日報編纂
最新書式大全
菊版總クロース製、美本、約九百頁◆◆◆定價參圓郵税十八錢
本書ハ左ノ如キ部類ニ大別シ第一部民事▲第二部商事▲第三部刑事▲第四部交通信▲第五部財政▲第六部產業▲第七部特許意匠商標▲第八部恩給年金▲九部郵務▲第十部警務ニ分類シ
狀、願書、不動產及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書ヲ始メ刑事、河海、土工、家屋ニ關スル申請書、訴度量衡、特許意匠商標、實用新案、市場、水產、農林、銀行、鑛業等ニ關スル書式、保險、入學、土地、家屋、諸會社、社寺、病院其他ニ關スル書式ヲ網羅シ內地共通ノ書式テモ掲載シ一々關係法規ヲ摘記シタル詳細ナル樣式ト手續ヲ記シテ代書業者ハ勿論官衙官吏法律家實業家教育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右一本ヲ備フルニ於テハ他人ヲ煩ハサズシテ世事一般ヲ知悉シ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友必携ナリ
發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番電話六〇〇九番　京城日報代理部
取次販賣所　△大阪屋號　△岩松堂　△日韓書房

品質第一
銘酒瓶詰之一大權威
全道各地之需要激增

大阪府堺市
宅合名會社
釀造元

モーター
（半馬力以上三百馬力迄）
發電機　變壓器　配電盤　諸材料　在庫豐富
株式會社奥村電機商會總代理店
大阪市南區末吉橋通二丁目
株式會社安部幸兵衞商店大阪支店
機械部
電氣部
機械工作所
電話長距離 一〇〇〇〇 一二三四

製品課目
陸船用汽機、各種喞筒、鑛山用
肥料用諸機械、電氣捲揚機、
一般工作機械、傳導裝置一式

病身は一生の損!!早く
滋養大關次亞燐を召せ!!
本品は近時賞用さる燐酸カルシユム劑の卒先製劑にて其効顯他に優る可き者なく病身を强壯體とす偉効あり
本舖　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衞
賣捌は各藥店

大阪商船出帆
（仁川出帆）
▲大阪行　安東丸　十一月十七日正午
木浦大阪行　信濃川丸　十一月廿一日正午
（元山出帆）
▲浦潮行　安平丸　十一月廿三日後十二時
▲釜山、門司、宇品、神戸大阪行　宮島丸　十一月十七日後九時
（大連出帆）
▲上海、芝罘、打狗行
湖北丸　十一月廿一日前
基隆丸　十一月廿四日後
▲内地各港出帆主要航路
歐洲行　一年四回
南米行　一年四回
北米行　每月一回
濠洲行　每月一回
南洋行　每月一回
御注意　切符發賣所及荷扱所　京城南大門通　大阪商船株式會社京城出張所　電話二〇番
仁川支店　電話七十番

◎日本郵船出帆
大連、天津行
高砂丸　十一月十九日
大連、秦皇島行
田丸　十一月七日正午出帆
仁川海岸町一丁目　郵船代理店

朝鮮郵船出帆
▲敦賀行　清津、城津、元山、經由　平安丸　十一月三十日
▲浦汐行　大阪丸　十二月二日
▲雄基行　平壤丸　十一月廿七日
▲京畿丸　十一月廿四日
▲三浦丸　十一月二十日
▲元山雄基線　穩城丸　十一月廿三日　元山
▲大阪行　平壤丸　十一月廿九日
▲關門行　山陽丸　十一月廿二日　元山
▲金剛山遊覽便　三浦丸　十一月三十日
▲濟州島行　昌平丸　十一月二十日　釜山
▲濟州島行　盛德丸　十一月廿二日　釜山
▲釜山浦項　慶興丸　十一月十九日
▲濟州島行　公州丸　十一月廿六日
▲東廻　西廻
▲木浦郡山線　群山丸　十一月廿二日
▲多島海行　慶寶丸　十一月廿二日
▲木浦行　江田島丸　十一月廿一日
▲海州行　仁川、海州相互ヨリ每日一回出帆
▲鎭南浦行　晉州丸　十一月廿五日
▲大連行　江原丸　十一月廿六日
○朝鮮總督府命令航路
本社　京城南大門通　電話長一九五
釜山支店、元山支店、仁川出張所、木浦代理店、群山代理店、京城取扱店　其他各寄港地ニ取扱店アリ　電話長二〇

京城日報

第五版

▲目先は如何 講和來をんご押し目らしき押し目もなく茲性質の一遍理窟を以て律し難く全り方踏み上げつゝある次第なれば

兵庫期米 二十日前場寄付 三十三圓八十九錢

仁川米豆取引

京城日報 大統領の渡歐

一

米國大統領ウイルソン氏が歐洲渡航の企ては、頗る興味あること〻して、全世界の視聽を集めつゝあり。蓋し歐洲大戰の急轉直下、獨逸をして降服的休戰條件に屈從するを餘儀なくせしめたるは、米國參戰の効果の至大なるを表示するものにして、大統領の言を借りて之れをいへば、米國は『最も危急と感ぜられたる時機に、此の戰爭に參加するの特權を得、而も此の偉大なる成績に對し、誇るべき貢献を爲し得たる』ものに相違なく、大統領の得意、米國民の滿足此上なかるべきなり。今や『一國より一國に燃え擴がりて、遂に全世界に及べる大戰火が、いよ〳〵茲に終熄を告げ』歷史あるヴエルサイユの宮殿に於いて、將に光榮ある講和條約を締結せんとするに臨み、ウイルソン氏が北白耍館を出で、晴れの舞臺に乘り出して、世界人類環視の裡に、其の懷抱せる大理想を披瀝し、米國參戰の主張を徹底せしめんとするは、決して不自然なりとはいふべからざるなり。

二

或はいふ大統領の渡歐は、米國を代表して講和會議に列席するにあらず、要は戰地の實狀を視察し、氏が懷抱せる戰後政策の實行に資せんと欲するのみと。或は然らん然れども氏がヴエルサイユ會議に於ける一椅子を占むると否とは、多く問ふ所にあらず。唯其れ佛國に上陸し、其の車轍を巴里市内に印するのみにて、米國の氣勢を揚ぐる莫大なるべし。況んや佛人歡呼の裡に、例に依りて正義人道を鼓吹し、世界永遠の平和を宣傳するに於いておや。

三

大統領はいふ『吾人の完成したる所は、單に獨逸の軍閥を覆滅したるに止らず、獨逸よりも遙に重大なる或物あり、何ぞや、武斷的帝國主義を殲滅せんとして、相協力せる各國家が、不偏の正義――目下の協力以上、更に好く、更に恆久的なる或物に基礎を置きたる解決策に包括せらる、不偏の正義――に對する、全世界の欲求を滿足せしめ得る平和を建設せんとして、同一目的の下に相協力するに至れること即ち是なり』と。大統領は乃ち此の列國間に瀰れる正義的潮流に棹し『强者に對して正當の權利を與ふると共に、弱者に對しても[illegible]策を遂つることに[illegible]ならんと信ぜらる。大統領は此理想を現實にする方法として、既に海洋の自由、國際聯盟及び經濟的障壁の撤去等を聲言したるが、氏は今回の講和會議（或は平和會議）に對して、果して如何なる態度を執らんとするか、是實に今後の觀物なるべし。何となれば海洋自由主義の標的は、敵國に在らずして實に英國に在り。英國の之を承認せざるは明々白々たる所にして、ウイルソン氏も之が爲め先に獨逸に與へたる回答に於て、此條件を講和會議の際まで保留したるも、英國の主張は徹頭徹尾なり、恐らくは米國の提議に耳を傾くるの餘地なからん。而して國際聯盟に依る軍備の制限、はた經濟的障壁の撤去は、到底實行し得べからざればなり。

四

吾人は理想としては主義としては、ウイルソン氏の提唱に賛服し敬意を表すと雖も、事實問題として之を取扱ふには、許多の點に於て大なる不安を感ぜざる能はず。知らず大統領が佛國に上陸したるの後、倫此の理想と此の主義とを鼓吹し、英佛人をして首肯せしむるを得るや如何。

東京便り（十二月十七日發）

◇當地目下の話題は、講和大使特派の可否と、大使の人選如何の問題に之れ有り候。然るに政府筋に於ては未だ何等の腹案無く、原首相の如きは、時日間に合はずと稱し、頗る平然たる有樣に候

◇昨日大磯別邸に大風に吹かれたる原首相は、本日は腰越の別莊に籠り、明日午後歸京、明後十九日外交調査會を開きて時局の報告を試むる段取に候。十九日の外交調査會の結果は恐らく本文に先ち御報知なる東京電報にて[illegible]も、同日の會議は何等の決定を見るに至らず、單に一片の報告的會議たるに止まるべく候

◇今次の講和會議が都合三段の經過を經べしとは、當地消息通の夙に領得する處に候。第一段は謂ふ迄も無く正式講和の準備會議にして、聯合國間の要求條件を一決するに在り、第二段は正式講和會議にして、獨逸をして前記の要求條件を承認せしめ、以て今次の大戰を終結せんと欲するものに有之候

◇第三段は、世界の永久平和に關する、哲學的討議にして、所謂國際聯盟と云ひ、武力制限問題と云ひ、海洋の自由航行と云ひ、何れも重要なる學術的研究題目に屬し候。勿論此種の學術討論會が今次の講和會議に引き續き、直ちに催せらるべきか、將た後日に保留さるべきかは、未定の問題なり、而して列強當局者は目下第一段の準備に忙殺さるゝが故に、何人と雖も其の成行を豫言し得ず、唯吾人一個の推測に從へば、第三段會議の効果如何に對し、頗る其の價値を疑はざる能はず候

◇我が政府は第一段の準備會議に參加せしむべく、珍田、松井の兩大使を選任し、夙に重要問題を發せられ候[illegible]

◇[illegible]定し得る所にあらず。然れども之が爲め態々大使を特派するの必要ありや否やに至りては、考究の餘地なからざるのみ

◇若し吾人の推測にして誤り無くんば、原首相は講和大使特派の意思を有せず、結局珍田、松井の兩氏を任じて、正式會議の正式代表者たらしむるにあらずやと、信ずべき理由これ有り候。原首相が大使の特派が、日時間に合はざるやも知れずと云ひ、國民は今次の講和會議に、過大の期待を爲すべからずと戒告せる、其意謂し茲に在れば也。何となれば、日本帝國の要求條件は、準備會議の決定を以て、殆んど確定せる事と爲すも不可なければ也。隨つて準備會議の正副使を承れる珍田、松井兩氏は、共に正式會議の代表者たらしむべく、何等の不足あるを見ざれば也

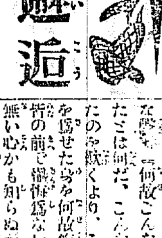
◇日本人の或者は、國際的虛禮を重大視し、使節の評判地位經歷の如何を過大視する傾向あり、然れども是れ時代後れの思想たるを免れず候。夙に大外交家の評判を博せる、加藤高明子の外交振りは如何、上下の失望、聯合國記憶に新なる所に候。吾人は近時の講和大使特派論が、一個の加藤高明子を救濟の目的に外ならざるを看取し、重ねて失望せざるを得ず。乃ち政府の意嚮を忖度し、吾人の卑見を加へて讀者各位の參考に供する所以に候

本紙定價 壹ケ月金七十五錢▲參ケ月前金貳圓拾五錢▲六ケ月前金[illegible]▲壹ケ年前金[illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五拾錢▲特別二號七字詰[illegible]▲四號九字詰[illegible]▲六號十七字詰一圓五十錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 [illegible] 振替京城二〇〇番
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之助

現代印度の事情（三）

岡教邃師講演

綿花に次いでは臓み聚げなければならぬ。是は所謂印度米麥を指へて歐米に輸出される、其中心はカルカッタで、現今では日本商人の手で殆んど獨占的に輸出を行つて居る。其他鐵、皮革類、石油、シエラック、玉類等の産出も隨分盛んなものである。次に印度人の生活狀態は何うであるかと云ふと御承知の通り社會の階級が大體四ッに分れて居る。最も上級に居るのは婆羅門種即ち印度の僧侶の種族で、第二が刹帝利と稱する日本で云へば士族の如きもの、第三が吠舍と云つて商業工業などを營む階級、第四を首陀羅と云つて此社會の者は主に農業に從事して居る。其階級の區別は箆棒に嚴格で一階級異なつても一緒に席に就くことは出來ない、最も甚しいのは婆羅門種の者の前に、最も賤しい首陀羅が出た時には頭をグーッと垂れて跪る樣な恰好を爲て居なければならぬ、だから同じ國に生れても階級が異なれば外國人の樣な感じを持つて居る。此族風は極古い時代から存したもので西暦紀元前五百年頃釋迦が四姓平等を說かれて一時全く改善されて居たけれども、其後再び婆羅門教の擡頭に依つて今日の有樣になつて居る。人民の無教育なことは呆れるの外は無い、私が彼地で旅行した時咽喉が渴いて仕方が無いから或地方で印度人の家へ行つて水を飲まして吳れと云つても、外國人と見て誰も水を飲まさぬのみならずテンデ相手にして吳れない。やつとの事で少し開けたらしい者を見付けて、自分は日本の佛教徒である、水を一杯お馳走して[illegible]と云ふと六七尺もある高い處へ上つて其處からバラ〳〵注いで吳れた、けれども器物など決して貸さないので私は掌で受けて飲んだことがある。彼等の衣服は熱い國故至つて簡單なもので早く云へば腰卷一つだけである、大幅の二間もある樣な長い布を腰から下半身へぐる〳〵捲きつけて臍から上は裸である。夫でも近年は冬になると大小など著る者もある、是は日本からも餘程輸出して居るが萬一ほころびを生じても印度人の細君はお針が駄目だから丈夫なものでないと向かぬさうである。着物は斯んな工合だが其代り金銀寶玉類を以て飾ることは素晴らしいもので殊に婦人となると銀の腕輪を篏めて居る、上等になると金である、夫から足輪を篏めて居る中には是を三つも四つも篏めて步く度にチャラン〳〵と鳴らす。頸には珠數の樣なものを掛る、耳にも輪を下げる。まだ其上に鼻輪をぶら下げる。一寸見ると蚊帳の釣手を啣へて居る樣だ、少し高襟な女になると是を鼻の横の方へ篏めて大いに氣取つて居る。



邂逅

佐々木峰雪

五十五 悔悟（三）

紳士佐山は庄吉の顏を見てまづ安心の胸を撫でた。

『はい、坊といふのは弟のことなんで、云ふも恥かしい事ですが世にありふれた生さぬ仲でして、庄吉を一粿の菓子で亡いものにしようとしたのが、返つて弟がそれに中毒て斃れたんです、實に恐ろしいは女の心です』庄左衛門は涙の下から訴へるやうに云つた。

『坊ちやんが…………』と庄造の姿に目を移して『あゝこれがや明から無いですな』佐山の眼には早や同情の露が光つて居た。

『今に彼女が來るに違ひない、もし此場へ姿が見られれば見られ次第、ふん縛つて警察の手へ送る心です』庄左衛門の聲は引き緊つて居た。

『いや』と佐山は頭を掉つて『聞けば貴下は結構な地位に居られるさうです、爾うしたら或程度迄は體面を保たなければなりますまい、此の樣な事を表沙汰にすれば、勢ひ貴下の名譽も出ませう、今假りに是れを訴へたからとて、死んだものは返つては來ますまい、唯だ意味の無い事に御家内なる人を苦しめ、世間に重な名を傷つけやうより、なるべく穩便に、表は病死として濟ませ、御家内なる人は悔悟の色の見らるゝ迄、相當の處置を取つた方が、わたしは或は良策ではあるまいかと思ひます』と其一言毎に、至情が顯はれ、一句毎に赤誠が溢れた。

『兄上』と庄五郎は思ひ付いたやうに『佐山さんのお詞の通りです、義姉上さへ眞心になつて、庄吉を勞はつてくれたら、闇に鬼の手へ渡すも無益です、茲は充分に義姉上の心の底を見ての話です』と詞を添へた。

『それも爾うだ』と庄左衛門は考へ込んだ。

『今に御家内もお見ゑになりませう』と佐山は[illegible]つて『今においでになれば、[illegible]篤と御聞かせ申すことにし[illegible]』と世にも親切に云ひ終る時、慌しう驅た一臺の俥車があつた。

俥車から轉がり降りたお染は、無言の儘毛布に腰から下を卷かれて、仰向きに寢て居る庄造に取り縋つた。

『坊か』と一聲、身も浮く程に泣き入つて『何故こんな死にやうをしてくれた、これ坊、何故こんな死にやうをしてくれた』

『染』と庄左衛門は語を裂くやうな聲で『何故こんな死にやうをした』とは何だ、こんな死にやうをしたのを獻くより、こんな死にやうを爲せた身を何故悔いない、何故皆の前で懺悔爲ない、自分は知れ無い心かも知らぬが、人には能く知れて居るぞ、[illegible]も知つて居られる、茲に居る庄五郎も、乃公も庄吉も[illegible]しやる佐山さんも[illegible]、乃公はお果と共にふん縛つて警察の手へ引渡さうと思つたが、佐山さんのお詞もある、乃公の考へもある、が改心の情の見ゆぬ間は[illegible]譯に行かぬ、一應心の底を發て聞かう』と庄左衛門はじり〳〵詰め寄つた。

『奥樣、お詫びなさい、過つて改むるに憚る事無しです、昔から罰もあります、海を盛り子を殺す其の罪を悪んで其人を悪まずです、然し改むれば其罪は消滅します、お詫びなさい、そして只今庄吉さんを我子として愛する旨をお誓ひなさい』佐山は誠意を籠めて云ひ聞かした。

『奥樣、お詫びなさりませ〳〵』と古兵衛も詞を添へた。

『はい』とお染は醉ひから醒めたやうに顏を擡げて『妾は恐ろしい夢を見て居りました、今の今迄この妾で坊が死なうとは思ひませんでした、妾はお詫します、妾を警察へ渡して下さい』

『いや、それでお心が知れました、警察へ渡すに當りません』と向き直つて『藤井さん奥樣は元の奥樣に返りました、お悅びします』

『佐山さん有難う』と庄左衛門は一言、堅く〳〵佐山の手を握つた。

秋の鐘が二葉三葉、哀れむやうに舞ひ落ちた。

秋日遊山寺次枕石道人之韻 長湍 金雲培

紅樹白雲石逕深。荒王宮闕鬱森々。[illegible]山光暮。[illegible]將看塔影沈。莫向[illegible]傳逸想。只當[illegible]試長吟。思君不見空惆悵。[illegible]客心。

在庫品案内

一、ターボゼネレーター 中古

エシヤウイス千五百キロ A.E.G		貳基
ウエスティング五百キロ		貳基
エシヤウイス八百キロ		壹基

一、水管式汽鑵 新及中古

バブコック	四百五拾馬力	四基
同	參百八拾馬力	參基
同	參百馬力	貳基
同	貳百七拾馬力	貳基
バブコック型	參百馬力	貳基
ハイネ（新）	參百貳拾馬力	貳基
同	參百馬力	貳基
同	貳百七拾馬力	四基
スターリング	百貳拾馬力	壹基
ロバート	參百馬力	壹基

一、各種汽鑵

ランカシヤ	六尺五寸×長二十六尺	壹基
舶用	拾貳尺×拾壹尺	貳基
コルニシユ式	五尺×廿四尺	壹基
同	五尺五寸×貳拾尺	壹基
同	五尺×拾六尺	壹基
同	四尺五寸×拾貳尺	壹基
同	三尺七寸×拾六尺	壹基
多管式	七呎二吋×拾九呎八吋	貳基
同	三尺五寸×拾尺	貳基
同	三尺×拾尺	壹基

一、發電機及電動機 新及中古

參百馬力	交流電動機	四基
二百五拾馬力	同 新	壹基
二百馬力	同	參基
百七拾五馬力	同	貳基
百五拾馬力	同 新	壹基
百馬力	同 新	貳基
六拾馬力	同	壹基
四百キロ	直流發電機	壹基
百五拾キロ	直流發電機	貳基
貳百キロ	同	壹基
百廿五キロ	同	壹基
百キロ	同	壹基

一、諸機械 新及中古

グリーンエコノマイザー	一六八本モノ	壹組
給水喞筒	九吋×六吋×十二吋	參ケ
同	五吋半×四吋四分一×六吋	貳ケ
變壓器	千八百キロ三相ノモノ	貳ケ
同	貳百キロ三相用	壹ケ
同	參拾參キロ單相用	七ケ
同	七、五キロ三相用	壹ケ
同	百七拾五キロ單相	四ケ
變壓器	三百キロ單相用	六ケ
ロータリーポンプ電動機付十二吋用		參ケ
廿五噸ハンドトラベリングクレーン		壹基
舶來一噸半スティムハンマー（新）		壹基
二百五拾馬力	エンジン	壹基
六拾馬力	竪型エンジン	壹基
貳拾五馬力	横置エンジン	壹基
貳拾馬力	同 エンジン	壹基
十二人乘ヲチッスエレベーター		壹基
捲揚機	八吋半×拾貳吋	參基
舶用六馬力	石油發動機	壹基
同貳拾馬力	吸入瓦斯發動機	壹基
同二拾五馬力	同	壹基

一、煙突

徑九呎耐震長百五十呎	壹本
徑尺二寸長七十五尺	四本
徑三尺耐震煙突七十五尺	壹本

一、鋼材
ハンマードロール
シヤフト用徑三吋乃至八吋迄約貳百噸
一、徑四吋引拔鋼管九千尺

其他給水喞筒各種持合有之候間御用命仰付被下度此段謹告仕候

東亞貿易合名會社

營業所 京橋區南紺屋町 電話京橋（長）三二二、三三二、四三〇五番 倉庫 深川區富川町三番地 電話本所三七九四番

横濱出張所 横濱市本町六丁目 電話本局四一七

◇我特殊權利確認

日英同盟條約と我が海軍派遣

日英同盟條約の結果日本が大戰に參加し東洋治安維持の任務を全うし且つ日本海軍の一部を地中海に派遣するに至りたる事は言ふ迄もなく英國及び聯合國の銘記する所にして日本が同盟國たる義務を全うす可く大戰に參加せる日本の特殊の權利に就ては之が聯合國全部によりて認識され居たるが今回の大戰によりて何等の障碍無く確認せらるゝ事となれりと信ぜらる（巴里電報）

◇講和豫備會議期

佛國よりの電報に據れば講和豫備會議は十一月下旬ヴェルサイユにて開始せらる可し（桑港電報）

◇ヴェルサイユ宮殿の準備

ヴェルサイユ宮殿は講和會議の爲め準備を取急ぎ多數の人夫は裝飾に忙殺されつゝあり（倫敦電報）

◇獨逸新政府と選擧權

伯林來電＝獨逸新政府は告示を以て今後一切の選擧は二十歲以上の男女に對し一律に選擧權を附與せらる可しと聲明せり（東京特電）

◇獨政體會議開期

伯林來電＝宰相エベルトは來年一月政體會議を行ふ可き旨及び從來の獨逸帝國及び聯邦議會は廢止されたる旨聲明せり（東京特電）

◇前獨海相瑞西へ

前獨逸海相フォンチルピッツは瑞西に遁れたりフォン、マッケンゼンは自動車にて兵二千を搭載し匈牙利のデブレッツインに到着せり但牙利官憲は師團中の獨逸軍隊の武裝を解除せり（倫敦電報）

◇和食糧窮乏救濟

英國新聞局發表に曰く倫敦に於る聯合國食糧會議にて汽船アドラ號に小麥七千噸を積載し和蘭ロッテルダム港に入港せしめ和蘭國内の食糧窮乏を救濟する事に決せり（倫敦電報）

◇和蘭共和國乎

和蘭に於て勞兵會より成る共和國建設を見るべき形勢あり（倫敦電報）

◇墨西哥幣制改革

墨西哥にては金貨の輸出甚大なる爲め政府は命令を發し幣制を金貨本位とし又銀貨の純分を減ぜり（桑港電報）

◇徐氏の財政方針

徐總統は近く財政方針を公布すべし（上海電報）

◇王世子御歸京

李王世子垠殿下には廿日午後三時演習地より御歸京相成たり（東京特電）

◇駐英米大使

ジョン、ダブリュー、デビス氏は英國駐箚米國大使に任命されたりと（紐育電報）

◇我講和特使ご出發期

講和會議に際し我國より派遣す可き特使に就ては加藤高明子呼聲高きも尚未定にて珍田、松井、駐米石井三大使の孰れかが正使若くば副使たるは既に決定せるものゝ如し而して隨員の決定せる者は陸軍は軍務局長奈良中將、參謀本部附畑俊六砲兵中佐、軍事課員二宮治重歩兵中佐、佛國駐在藤岡萬藏大尉、海軍は軍令部次長竹下勇中將、野村吉三郎大佐、山本信次郎大佐、海軍省參事官山川端夫氏、外務省は英大使館參事官永井松三、佛大使館參事官長岡春一、外務書記官佐分利貞男、同木村鋭市の諸氏にて右隨員は本月二十八日頃軍艦にて米國經由出發の豫定なり（東京特電）

◇犬養氏動靜

十九日犬養毅氏は平田東助氏を訪問し何か密談を爲せり（東京特電）

◇辭令

二十日附左の通り任命ありたり（東京特電）

免本職參謀本部附被仰付　支那公使館附武官陸軍少將　齊藤季治郎

免本職補支那公使館附武官　參謀本部附陸軍少將　東　乙彦

免本職補朝鮮總督府參謀長　基隆要塞司令官陸軍少將　曾田孝一郎

◇米國海軍計畫

第二次擴張計畫　[illegible]計畫を維持すべきは勿論更に第二次[illegible]

▲擴張理由　第一次擴張は[illegible]以て戰爭の開始となるや米國貿易[illegible]至れるものにして今回の計畫も同[illegible]第一次[illegible]偏年を以て完成せしめんとするも[illegible]のなるか不明なるも假りに第一次[illegible]九年より三箇年間[illegible]

▲進捗せん　現海軍卿は曾[illegible]言の力も亦大なる理由なれば[illegible]海上武力を有するものは即ち其[illegible]の勢力を速くに至るべし

◎棉花出廻如何

生產高不低下

本年の朝鮮棉花は昨今出廻り期に入れるも例年に比して遲く繰綿工場の如き未だ活動を開始する能はず一般棉花の不作を云爲せられつゝあるが右に就き總督府農務當局者の談に依れば朝鮮の棉作は本邦に於る唯一の棉作地（内地の棉作總面積は全羅南道一都の三分の一位のもの）なる丈け當局に於ても之が生產增加に就ては至誠の注意を拂ひ居れり現に作付面積に於ても昨年に比し

▲二萬五千町步　を增加し又農業者も棉花の價格頗る好況なるより一般棉作に力を用ひしは疑ひなく昨年に比し收穫減を來す如き事は無かるべきも本年は棉花期に於て降雨少く幾分下降せし爲め生育に順調の憾あり即ち降雨期に於て一旦發育を阻まれ此期を經過して更に成育を始め蕾を持つに至りし爲め全南地方に於ても約十日間例年に比し開花期遲るゝに至り收穫期も自然遲延を見るに至りたり而して又本年は例年に比し早冷にて十月二日初霜（例年五日より七日）あり開花に障害を來さしめたる[illegible]は

▲却て遲かりし　爲め左程の悲觀するに當らずやとも思惟されつゝありされば反當の收穫は平地の調査に見て最大限一割の減收には非ざるかと觀測する筈は棉花商等も覺悟し居れるが如しされど綿は由來開絮せしも木を拔きて其儘乾燥せしむれば自然に開絮し所謂木棉として採取し得るものにて又木棉は普通開絮棉に比し內部の質小さく樣子一倍よりの收穫量或は一割減と云ふも實際は左迄減收を見ざるやも知る可からず出廻りの鈍狀なるは開絮の遲れたること確かに一原因なるも一般農民の賣惜しみは其最大原因也彼等の云ふ處に依れば昨年の價格が著しく尻上がりにて二十七八圓より

▲三十圓臺に上り　本年は春以來一般物價の昂騰率大にし米價の如き未曾有の暴騰にて本年も亦尻上がりに騰貴すべしと確信し全南の競爭入札も三十三圓の高價を出へ尚新高價の現出を待構へる向き多きが如し然れども當局は頗る誤れる觀測にて現に獨逸は降服に等しき休戰條約に調印し世界の棉花を支配すべき米棉暴落の報頻々たるあり大阪ミッドリングに支配せらるゝ朝鮮棉花が此上昂騰する理由なく思惑者は失敗を蒙らずとも限らず此際斯る誤れる觀測に基く賣惜みを爲す者は此理由を知らしめし手放しを勸誘する必要あらん又

▲現今木棉一四　五圓七八十錢の高價にある實棉として賣せず自家にて製造するとせば損は已むを得ざる事ならん更に注意すべきは一般農民は穀價の昂騰の爲の收入增加に依りて經濟狀態に餘裕を生じたる結果自家用の增加は免れ難き事と云ふべく要するに本年の棉作は反當りに於ては增加せざるも結局生產高に於て低下するが如き事無かるべし

◎橫斷航路通し引替證

廿[illegible]朝郵對聯合會社聯助[illegible]京城商業會議所に於て開催せ[illegible]同會議所[illegible]朝鮮商業會議所聯合會の[illegible]議案たる元山經由日本海横斷航路の[illegible]内地行貨物に對する通し引替證を發行されんことを當局に要望するの件に關し聯合會を長とする[illegible]氏は元山經由日本海[illegible]

▲橫斷航路は　裏日本に通ずる唯一の貿易航路にして獨り東部諸港の利益こするのみならず西海岸諸港に遠く滿洲を地の通商上至大の便益を與ふる所なりこ雖も海陸三線の連絡的協定を行せざる今日通し[illegible]の發行なきを以て荷爲替取組上不便を感ずる

▲損害辨償等　[illegible]の爲め[illegible]あり從つて會社は勿論荷主等の[illegible]のにも甚だしく不利益を生ぜしむる事多々あるべく且つ現に朝鮮[illegible]出貨物は[illegible]の申込みを受くる狀況にして[illegible]船腹の公平なる[illegible]の發行の見る能はざるも[illegible]備を講ふ方法を研究の上追々此の便を開き以て一般的便宜を[illegible]

▲改善に努力　しつゝ[illegible]

▲通商貿易の　發展を阻[illegible]害する虞あり依つて速かに鐵道院と朝鮮郵船會社との間に協定を遂げられ通し引替證を發行せられむことを望むと言ふが理由として聯合會の決議に依り當局へ要望する所ありしが本件に關し遞信局海事課長は直ちに朝鮮郵船會社に照會したるが之れに對する朝鮮郵船會社の答申要旨を見るに由來朝鮮内地間の交通航路は[illegible]朝鮮及び大阪商船の兩社を期せんと研究調査を怠らず先づ其の主要部市に於て運送業者の信用經驗あるものを物色し一日も早く

▲社會の期待　に副はんと勉め居れり而して最近に至りて内地にては日本郵船會社名古屋支店と契約成立し運送引受[illegible]行を開始し亦大阪、神戶に於ては大阪商船株式會社と契約締結中にて朝鮮移出貨物に對しては[illegible]諸に於て未だ適當の運送業者を見出だす事能はず且つ敦賀港に於ける陸上設備の不完全は官設鐵道[illegible]運力に不十分なる爲め荷捌を出し[illegible]然るに鐵道院との連帶契約は[illegible]下の所[illegible]なるのみならず[illegible]約を締結することも其效果を望る[illegible]收なくことを以て此點に於ける

▲移入雜貨品　の如き此[illegible]は[illegible]く完全にして特に不[illegible]ふるに當り其の荷造方法一般に不[illegible]雜輸送を要するもの[illegible]多きを加[illegible]來り[illegible]貿易の隆昌に伴ひ貨物の運[illegible]要都市に於る商業會議所に對し[illegible]の改良の急務なるを力說し近時商[illegible]問合せに依り移出者くは遠距[illegible]し殊に東京、大阪、神戶其他内地[illegible]輸送貨物の荷造包裝改良の必要を[illegible]荷に關係[illegible]其の[illegible]するものも其の原因の一半は荷造[illegible]甚だしく彼の拔荷と稱[illegible]の不完全に基因するもの[illegible]に[illegible]して拔き荷の頻發今日の如く[illegible]に[illegible]上の不安を醸し商人の信用[illegible]傷つくるこそ論なし今や時運一[illegible]轉して日[illegible]貿易の進展を企畫[illegible]すべき最好時機に際し包裝の改良[illegible]は極めて急務なりと認め當地に於ても各商人側に荷造の完全を希[illegible]

◎遠距離輸送貨物荷造改良

京城商業會議所にては滿般當地に於て催せる第一回全鮮商議聯合會の[illegible]

◎運輸收入激增

[illegible]

増加を來し殊に[illegible]は前月に比し十一萬六千人を增加し又小手荷物の運輸も頓に[illegible]加して總計二百五十萬斤に當り內鮮魚の運送高百萬斤を超加せり而して客車收入は七十萬餘圓を算し前年同月よりは二十萬餘圓の增加を示せり

人に達し前月に比し十萬二千人の

◎殖銀の營業方針（二）

於店長會議　三島頭取演述

次に營業の大體方針に就て述べますが第一として特に御話し度いと思ふのは資金の用途である殖產銀行としては自己の利益が相當にあれば何でも貸すと云ふ譯にはゆかぬが又樣にして儲かりさへすれば貸すと云ふ樣では高利貸しと同じであるからして事業の良否を察し用途を調べて融通しなければならぬ則ち善良な仕事に對する融通は勿論總て朝鮮の產業經濟の發達に資する資金を融通すると云ふことでなければならぬ又此のことは單に理論のみではなく一面には貸出の資金を計る所以であつて投機的のものや筋の惡いものは多く失敗するので、あるから自然危險である筋のよい適當のものならば[illegible]に相當の能力さへあれば成功する筈であるから自然回收も容易で安全なる貸出となるのである、資金の用途に就ては十分注意を願ひたい唯鮮人に對する貸出に付ては誹しく調査し困難い事情もあると云ふことであるが之れも

▲嚴重なる取調べをなすと云ふ態度でなく懇意に俗に云ふ打明話をすると云ふ樣な工合にやれば分らぬことは無いと思ふ故今後追々實行する樣にして貰ひ度いと思ひます

貸出の方法に就いては法律上の關係故に不完全なるものが多い[illegible]誠に止むを得ない次第であつて之を整理にすれば貸出の大部分を減ずることになり金融上に大影響があることになるから當分此の儘に續ける外ないと之は前に申しました通り之を以て適當の方法なりと考へ其儘に放擲しては[illegible]ならぬ常に其改善に心掛け適當の方法を案出することを力めねばならぬ[illegible]に依りては地方政府當局の協力を願はざるを得ざる者もありませう又[illegible]に依りては更に中央當局と御交渉を要する場合もありませう又或は當本店で調査する事を便とするものもありませう是等は失れ〲其筋に依て研究し盡されんことを望みます過日の問題となりたる蠶業組合の貸出、漁業組合の貸出しの如きは本店でも研究して居ります、又此以外にも研究を要する點も多々あるであります諸君の努力を願ひます金利に就ては大體諸君御意見の通りで當局も承知しました何れ市役會で發表の上に通知しますが大體意見通りの低下をなす積りで居ります現在各店の金利は區々で非常に高い所もあり可なり安い所もある、やうです然し之れは各地の事情止むを得ない點もありませうが

▲交通上の關係等より觀察して今少しく各地を接近せしむる必要があると思ひます又之に依り非常に高い所があるかと思ひます是等は已むを得ざる事情もあるかと思ひますが低下をすれば又之に伴ふ金利の低下も顧慮するは必要であるが今日の低下に當りては他の銀行にも手心を要せしむる事ならば、今日の程度に適用するに當りましては漸次に適度に行ふ事とし運用の妙を失はない樣に願ひたい次に地方的業務は適當の時期に於て漸次讓り渡すも宜しい地方銀行は中央金融機關より資金を融通し將來十分の發展をなす必要があります特に其の銀行として他の銀行に對し特に低利の資金を融通する關係であるが朝鮮銀行は中央であるから當分の間は之を行ひ居る次第でありますが、各銀行に於ても其の了解ある次第で今後は充分提携を保ち資金の疏通を謀られんことを望みます

◎鳥瞰錄

[illegible]今度白耳義から[illegible]せられた[illegible]

▲[illegible]白耳義は中立を侵害して同國民を塗炭の苦に陷らせた[illegible]又大白耳義國情者である▲三年前[illegible]或は知人に出會したが夫人の熱心振りは此所も遠慮なく[illegible]

[illegible]

□浪華より

吉野太左衞門氏來阪左の二句を得たり

時雨るゝや浪華に病んで京戀し　左　工門

時雨るゝや友と白楊京を戀ふ　一　象

林　一　象

人事消息

▲石田太郎氏（鐵道院技師）▲田中信一氏（同）二十、夜入京▲大村卓一氏▲山中清吉氏（東洋拓殖株式會社鮮支店長）　同上　▲藤野秀雄氏（東京化學染料株式會社）同上　▲長野縣一氏（全鮮日々新聞社長）二十日　▲大塚恆造氏（下商業會議所）同

▲廣告

京城地方法院公示催告期日變更決定

支那長春新市街東第七號地中、大正八年四月二日午前九時ニ變更

右事件ノ公示催告期日ヲ大正七年拾壹月拾六日

京城地方法院

京城府本町貳丁目五拾八番地中立人大本藤太郎

右事件ノ公示催告期日ヲ大正八年九月九日午前九時ニ變更ス

大正七年拾壹月拾六日

京城地方法院

京城府中大平町貳丁目拾八番地申立人八藤商行

右事件ノ公示催告期日ヲ大正八年六月九日午前九時ニ變更ス

大正七年拾壹月拾六日

京城地方法院

◎法人登記

沙里院金融組合變更

大正七年拾壹月[illegible]日臨時總會ニ於テ組合員[illegible]資格ノ[illegible]

[illegible]

海州地方法院沙里院出張所

發賣服排下

[illegible]

◎從業員募集

內地人男　十六七歲ヨリ二十歲前後ノ者

內地人女　十三四歲ヨリ三十歲迄ノ者

朝鮮人男　十七歲ヨリ三十歲迄ノ者

右希望者ハ履歷書携帶每週火木土曜日午後出頭スベシ

總督府印刷所

府稅賦課規則第八條ニ依リ府稅特別營業稅賦課徵收ノ件

京城府令第八號

大正七年十一月二十日　京城府尹　金谷充

[illegible]

登記公告

金川金融組合登記事項中目的ヲ左ノ通リ變更ス

[illegible]

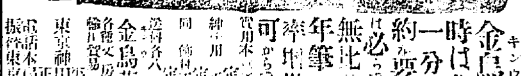
右大正七年十一月十八日登記

海州地方法院金川出張所

株式名義書換停止

十二月一日ヨリ定時總會終了ノ日迄

朝鮮製紙株式會社



（しな要必のトイポス美優尚高質品置裝入吸動自式新最）

金鳥萬年筆

時は金なり一分一秒も節約を要する現代には必らず此簡便無比の金鳥萬年筆を使用せば能率增進計る可からず

實用本位[illegible]定價[illegible]

東京神田錦町[illegible]　金鳥萬年筆本舖

名篇名作

陸續上場

寛永三馬術（全七千呎）

大秘密心の錠

二十一日より　黃金館

幸流小鼓手附

改訂增補再版出來

幸流小鼓手附序の卷

謠の總心得

大增補五版出來

寶生流謠曲手引集

增補改版出來

寶生流小謠集大觀

第五版出來

發行所　東京日本橋四丁目　わんや　江島伊兵衞

七英八傑

大町桂月先生著（最新刊）

東京　富山房

筆供養　繪入訓話

造船講義錄

技術員缺乏の[illegible]

東京本鄉西竹町　日本造船學會

自働扇風機裝置ナショナル精米麥機

大王

雲上御嘉納

成績斯界第一　信用　賣行

發賣元　精工商店

安價料理三百六十五日

カード式　小人數にも大人數にも重寶なる此上なき臺所顧問

副業世界社

戰後の海上

◇激烈なる競爭あらむ!!!

潜航艇の危険去り寛海航路開かる 各國は大々的に造船する……

休戰條約の成立と共に獨逸潜水艇の危険は最早全然除去されたる爲め郵船會社にては喜望峰迂回の航路を全然廢止していよく地中海の歐洲航路を

◇復活 することゝし十六日神戸出帆の臨時船常盤丸を一番船として地中海航路に就かしめたるは戰報の如く戰時中は絶對的危険區域と目されし多島海アドリアチック海黒海等も出來るだけ掃海を迅速にし殊に多島海中のサロニカ港の復舊を敏速にする由なり而して喜望峰

◇迂回 の航路開始以來地中海は魔の海と化し佛蘭西のマルセーユが獨り貨物の大集散地となり目覺しき發展を遂げたるに反し北岸の諸港は船舶の姿を見ずして物資は悉く鐵道便に依りし爲め其寂れ方は甚だしかりしが愈々地中海航路の

◇復活 を見たる今日は漸次舊態に復するならんといふ當地中海航路は機械水雷の掃海に未だ終らず浮流水雷等の危険も多少存し居れど保険率の如き近々三分の一に激減さるべき模様なりと

▽潜航艇で失つたのが……一千二百萬噸

遞信省管船局長は語る『獨逸の潜航艇や水雷が地中海に跋扈し時局以來航海困難ならしめたので止むなく喜望峰を迂回して居たがそれが爲に地中海を通れば十一隻の汽船で二十六回の航海が出來るものが二十三隻も使つて尚二十六航海の困難を感じて居た何しろ十隻なり十五隻なりの汽船に

◇一隻 宛の軍艦を護衛させて居たのだから其中の一番速力の遲い汽船を標準として航海するの外無かつたのと途中危険と見て避難したりして居るので片道だけに少くとも十日乃至二週間も多くの日數を要して居た、だから今後はそれだけ船舶の利用率が増加する譯である最早航海には武裝の必要も無くなつたので既に大阪商船の一隻に武裝を解せたが之から次に皆解かする筈である然し地中海には尚敵の浮流水雷が無いとも云へぬから相當の間は軍艦の護送を續ける必要もあり目下實況を

◇調査 中である戰前全世界の汽船は約四千萬噸有つた所が今回獨逸の潜航艇や水雷の爲めにてやられたのが實に一千二百萬噸に達し戰時中新造した五百餘萬噸を合しても六百萬噸の不足を生ずるに至つて居る戰爭が無かつたとすれば毎年新造船は二百萬噸宛の増加であつたのだからこれ等を見ると一千四百萬噸も不足と云ふ事になる世界の貿易が戰前と同様少しも増加して居ないと見ても輸送船が六百萬噸の不足だし年々貿易が戰前と同率に増加するものとすれば一千六百萬噸を不足するのだから今後世界

◇各國 が如何なる方針に出づるかは大いに注目すべき所で必ずや大々的に造船を急ぎ且つ船舶の代價並に運賃を極力引下て海運上激烈な競爭を行ふ事と思ふ殊に各國の最も注意すべきは米國である米國は一千九百十四年に貿易總額の九分七厘しか自國の船で運び得なかつたのが戰前の一千九百十七年六月の統計に據ると一割八分迄自國船で運び得られる様になつた船も亦十七年には僅に百七十萬噸餘の船しかなかつた、それが今日迄に新造したのが百七十萬噸あるし獨逸から分捕つたのが七十萬噸ある今年中には更に六百萬噸新造する計畫が立て居る』(東京)

[illegible]ト氏は海軍[illegible]人會に臨み[illegible]戰爭は終了するも海上警備[illegible]して歐[illegible]の必要に鑑み米國政府は既定海軍[illegible]じく繼續戰艦十隻巡洋戰艦六隻[illegible]して驅逐以下百數十隻を建造せんとするものなりと[illegible]得るに過ぎずして他は英國船舶に[illegible]より輸送せらるゝの状態なりしを[illegible]要すべき大商船の必要を感じ茲に[illegible]米國海軍は二千五百萬噸の海運力と第一流海軍擴張とを決行するに[illegible]の發展なりしが本年夏海軍[illegible]は議會[illegible]遲延することなかる可く且つ平和克[illegible]に修正すべきかは從來の例に徴し[illegible]逆睹する能はざる所又右計畫は何[illegible]る事となり現在に於ける英國海軍[illegible]が如く[illegible]前者は架空の[illegible]にし[illegible]で殆ど比敵立したりとするも強大な[illegible]見るべしといふ(東京)

ウ氏の……出馬は嘘か

いゝ最近歸朝者はいふ所を留守にしては出ない

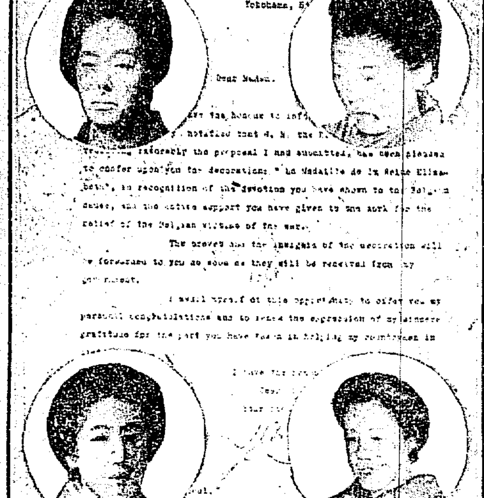
歐報の如く米國大統領ウィルソン氏は講和會議列席の目的を以て渡歐すべしとの事に就て最近米國を辭して歸朝せる某氏は語る『ウィルソン大統領が親ら講和會議に出席するといふことは全然嘘であると私は斷言する何となれば米大統領は國内騒擾の大公使館へも自身では行かぬことになつて居るし同時に自分の意思でも行くとは出來ぬからである公會(各國元首の出席する會議)ならいざ知らず各國が代表使節を派遣しようといふ講和會議にウ大統領自身が出席するといふことは決してない第一大統領が國を留守にして行政權を止めるといふやうなとは出來得ないとである』と

白耳義皇帝から「エリザベス」女王勲章を 京城婦人界の代表者に贈る

◇在京城白國總領事から通知状が來た 四年間息をも繼がず爭つた世界の大戰亂では到る處殘虐の悲慘事が生れた、中でも殘悪なる獨軍の爲めに蹂み躪られた白耳義の哀れを止めたものは無かつたがその際京城に於ける知識階級の國分司法部長官夫人、持地遞信局長官夫人、石塚總裁夫人、金谷府尹夫人等が率先して同國に同情を寄せ

▽……音樂會や慈善市など種々の方法で集め得た金品を贈つたがこの溢るゝ至情を嘉納せられた白耳義皇帝陛下は今回名譽の「エリザベス女王勲章」を贈賜せらるゝ事となつて横濱總領事ジエー・ブリボシヤ氏の手を經てその由を前記夫人等に達せられた、京城ではこの外に露國領事夫人、ゲール夫人の六氏がこの名譽ある

▽……勲章を贈られたのであるがまだ勲記及び勲章は屆いて居ない、持地夫人は喜ばしげな笑みを見せて『思ひもそめぬ事で御座いました、私共の微力を斯く賞されては却つて恐縮の至りで御座います、休戰になつた今日、最



Yokohama, [illegible]

Dear Madam,

[illegible] the honour to inform [illegible] notified that H. M. the K[illegible] favourably the proposal I had submitted, has been pleased to confer upon you the decoration "La Médaille de la Reine Elisabeth", in recognition of the devotion you have shown to the Belgian cause, and the active support you have given to the work for the relief of the Belgian victims of the war.

The brevet and the insignia of the decoration will be forwarded to you as soon as they will be received from my government.

I avail myself of this opportunity to offer you my personal congratulations and to renew the expression of my sincere gratitude for the part you have taken in helping my countrymen in [illegible]

◇白耳義から勲章を贈られた(右上)持地長官夫人(左上)國分司法部長官夫人(下)石塚東拓總裁夫人(下)金谷府尹夫人と白國總領事より公報を通じ來れる通知状及び譯文

拜啓陳者貴夫人が白耳義の爲め御盡力下されし御熱誠と歐洲戰爭のために犠牲となれる白耳義救助事業に對し熱心に御後援あらせられ候に就き、豫て小官より白耳義皇帝陛下へ奏上仕候處今般貴夫人へ『エリザベス女王勲章』を贈賜せらるべき旨本日公報に接し候條此段御通知申上候右勲章の辭令及記章は白耳政府より到着次第御廻し可仕候茲に小官は謹んで貴夫人に賀意を表し白耳義人救助のため御盡力下され候段改めて厚く感謝仕り候(一九一八年十一月五日、横濱、白耳義總領事、ジエー・ブリボシヤ)

大金に眼が晦んで

郵便所事務員の悪事

龍山憲兵分隊の手柄 (二萬圓横領犯人逮捕詳報)

公金一萬一千四百圓を横領逃走したる黄海道信川郵便所事務員金炳洙(二一)及び共犯者の一人なる同地憲兵分遣所傭人崔象徳(二〇)の二名が十九日仁川に於て龍山分隊の手に逮捕されたることは夕刊所報の通りなるが今其の詳細を報道せんに主犯者金炳洙は前後五年間同郵便所に勤續し太く所長の

▽信用を博し居たるも……小業極めて遊蕩にて一箇月の收入は臨時手當を合して漸く十八圓よりなく漫に生活難を感じ居れる折柄十六日午前偶々同郵便所が信川邑民より平壌に送附すべき爲替金六千圓を受入れたるを見て俄かに悪意を起し同日午後運送夫が[illegible]郵便行嚢[illegible]て出發するや直ちに

▽その跡を 追ひ約一丁ばかり後より之を呼び止め『現金の運送につい[illegible]聞違ひがあるから其の大行李を一寸御借せ』とて大行李を受取り其中より前記の六千圓と封入せる赤嚢二個の赤嚢を取出したる上何食はぬ顔にてその嚢を[illegible]運送夫はその際放尿中なりしが同じく信ずる事務員の事とて金炳洙が斯る悪事を働いて居らうとは思はずその儘

▽安心して 運送を續けたるが一方赤嚢を投取りたる金炳洙はその足にて直ちに親友なる信川憲兵分遣所傭人崔象徳を訪ひ懇々と情を明かして同人を仲間に引入れ相談の結果兩人共に載寧、沙里院を經て仁川に出で同地より海路奉天に高飛びする決心をなし同夜自轉車一臺づゝを借受けて載寧に向け出發したり

▽載寧に向 兩名の者が載寧に到着せるはその夜の十時頃なるがその際崔象徳は豫て知り合の間柄なる載寧鐵道通譯李錫柱(二七)に出會し種々訊ねられるが僅に『實は少しばかり儲けたから他所へ行かうと思ふのだが往來では少し話難いから』と金炳洙と共に李錫柱方に赴き此處にて最初よりの顛末を打ち明けたる上錫柱の

▽加擔を求め 三人が[illegible]りにて件の赤行嚢を斷ち破りたるに金員は全部合して一萬一千四百圓ありしも三名は碌々勘定もせず[illegible]手に紙幣を摑みながら[illegible]

▽益々奮起 し[illegible]

▽此奴怪し と[illegible]せる事を探知し

▽約五百圓 を投じて洋服、純金の指環、時計、眼鏡、トランク等を買込み翌十八日午後五時仁川に向け出發したり是より先龍山分隊の服田刑事は所轄官憲よりの手配に接し嚴重警戒中前記新玉旅館に平壌貫鐵商二五錫曾宗張萬善(三七)鎭南浦後浦里七八穀物商許澤(三)と名乗る二人連の鮮人投宿せる事を探知し

て直ちに京城に出で[illegible]

▽一日遅れ [illegible]

▽害家徒に [illegible]

一家五人發狂す

一人は神の使だといふので四人は平伏!!!

埼玉縣川越町字寺井町千二百二十五阪留吉(三)同妻なべ(毛)長男富藏(三)次女つね(三)次男徳太郎(三)の五人は十七日午前十時半頃

▽突然發狂 して暴れ出し中にもなべの如きは長男富藏の[illegible]このつまれたる龍[illegible]

▽實家に逃 [illegible]

▽警戒に努 むる[illegible]

▽原因と目 さるゝは[illegible]際にて歸宅したるが十七日朝に至り一家前記の始末に至れるものなりと(東京)

起く兵、歸る兵

龍山驛で兵站部隊と電信隊が……

何だか張合がなくてねといふ歸る人 任務の重いのに意氣揚々たりといふ起く人

廿日の龍山驛は凱旋兵と出征兵の[illegible]十頭が滿洲北から歸つて來た休憩通過で頗る賑ひを呈して居た、午前十一時廿七分發第十二師團の一兵站部隊四百名及び馬匹三百五時間が長いので我食後は各自思ひくに龍山や京城の市中を見物する者もあり入馬共に却々の元氣である指揮官江藤一等主計は

◇『やあ有難う、彼方は隨分寒いですよ餘り呆氣ない戰になつたので何だか張合がなくつてねぇ、でも我々は六十日間も戰地で働いて來ました、兵舍に數十人位の患者の居ない處はありません、その中で私の部隊では零度以下廿二三度なのに患者一人出さず馬も非常に丈夫です衛生を非常に重んじたお蔭です』と自慢話に花を咲かす、午後一時四十五分になるとハルビンに向ふ電信隊の〇〇〇名が着いた、隊長西村大尉は

◇『やあ、我々は何も砲火を交へて戰ひをする理由ではないが任務は頗る重いので兵士の意氣は旺んなものです』と笑ふ、凱旋兵と出征兵が互に語り互に笑つてその賑やかな事つたらない、出征部隊は斯くて二時三十分發國境へ向つた又京城の知人友人さては凱旋四百の兵士の勇ましい萬歲の聲に送られて北行し凱旋兵は三時南行した。

▽阿武天風氏

ハルビンで新聞を發行するために北行

◇職工迄連れて

北行した出征兵の中に交つて廿餘名の和服や洋服の一團があつた、何だらう?と訊ねると『軍人では無い、[illegible]世界で有名な阿武天風君が記者、營業部員、職工、機械までを取そろへて新聞經營のためハルビンに向ふための其一團であつた天風君は『軍隊の方も多く居るしこれから益々多くなると信じてやつて來たわけです、何卒これからは宜敷く願ひます』と笑つて居た。

◎神前結婚

成歡地方法院[illegible]西文夫氏は今回京城神前[illegible]明治町[illegible]にて[illegible]

◎送別生花會

[illegible]

演藝

▲有樂館 廿一日より映畫部差替、冒險奇譚(ロビンソン漂流記)を始め滑稽(署長と火消)人情悲劇(暴す乙女)等を映寫すべく番外餘興として喜劇三馬術)一日より[illegible]

▲黄金館 廿一日より舊劇(實錄)連續大活劇(大秘密)悲劇(心の錠)等を映寫すべく(大秘密)は益々佳境に入るべし

最新刊

皇國の興廢 一圓五十錢 送料十錢

京日案内

大阪屋號 京城本町

康貴 木炭 北榮商會

寫眞 藤阪寫眞館

谷口樽栓荷着 奥田

寫眞 菅原寫眞館

辯護士 岩田仙宗

貸家 小森材木店

女中入用 西小門町第十一號官舍

獵犬牝 瀧川銃砲店

茶舗讓る

募集 久枝肛門病院

砂金青金高價買入れ 中村分拆所

恩給立替 西村商會

毛皮なめし 仕立

商業登記公告 水原支廳

子を持つ親達よ

小兒專門解熱新藥 オイン

こどもの大敵は……かぜネツ!!! 今が一番注意の時!!! 可愛子にはオインを用よ、小供には小兒專門の藥でなければ危險也。

オインの偉効 ◎かぜ◎ねつ◎流行性感冒◎百日咳◎麻疹◎肺炎◎マラリヤ熱等熱病一切

本舗 丹平商會藥房

百圓 大阪有田ドラッグ商會

りん病 ばい毒 帝國醫科大學

にせ物 大阪有田

朝鮮のにせ物

東京日本橋通四

日本に初めて出來た美乳の姉妹美容料

純白美乳 定價 一瓶 參拾錢

又コンナ珍らしいものが近代科學の最新研究に依つて發明されました評判の日本に初めて出來た美乳の美白素を基とし更に特種の秘劑を配合したもので僅か一滴で皮膚の生地から白くする作用美しくなる効果の著しき事眞に驚くべく從來有觸れた化粧品の類と根本成分の異つた不思議の白色劑であります

◎家庭に美乳外出に純白美乳!

純白美乳は美乳の姉妹美容料であります此二つを併せてお用ひになる事に依つて全き婦人美は初めて發揮されるのです、故に家庭に在つては朝夕洗面の後入浴の後などに常に美乳をお用ひになれば皮膚の根本組織を白く美くし且つ皺荒を防ぐ事不思議な位ですが斯して立派に整つた膚の上へ外出の時純白美乳をお塗けになると一滴ですぐ女が見ても惚々する程のお化粧が既に美乳の下地がありますから化粧水も塗刷毛の世話も要りません。

◎主人は美乳奥様は純白美乳!

美乳は目立たぬ白さに男子の皮膚をも美しくする獨特の秘劑が加味されてありますから殊に髭剃のあとの美乳一滴は近代紳士の口を揃へて賞讃愛用するところとなつて居ますそれ故に御夫婦の外出姿を見ますと主人は美乳、奥様は純白美乳で婦人美と男子美との好一對、加之純白美乳はタツタ一滴で立派にお化粧が出來上りますゆゑ男子と打連れての外出の時なども全く申分なく其皮膚の美しさはやがて家庭圓滿の基となるのであります。

◎母君は美乳令孃は純白美乳!

美乳はまた中年の御婦人に適し純白美乳は令孃の若き美を整へるのに必要であります、即ち美乳の白さは生地からでそれで少しも目立たぬばかりでなく之を常用する時は絶對に小皺を寄せませぬから母君に取つては眞に唯一無二の御愛用品、さて令孃は家庭では美乳を常用し外出する時には必ず純白美乳でお化粧致しますと上品な母君の外出姿と並び立つて一層水際立つた白さ美しさを見せます、此二品の御併用御質驗を切にお勸め致します。

美乳本舗 大學目藥本店 矢野芳香園 振替大阪一〇三六三番

母と子 (二十九)

北島春石作 森田久畫

尋ねもの(二)

些と時候には早いが、ラクダの長外套をぬく〳〵と着込んで、濃鼠の中折れ帽を目深に頂き、印度綴の金指環の光る指先に蒼貨を挾み、紙巻まはりの植木屋風情が、と、横柄に構へ込んで森泉の住居を尋ねた高松朔平は、植惣からグッと一本突ッ込まれてだじ〳〵となつた形。

『おい！何をするんだ。知らぬと云へばそれで濟むのに殆ど喧嘩腰の亂暴さは。』

『誰が喧嘩を吹ッ掛けたつて――へン！お前さんこそ冗談を言つちやア可けねえぜ。こゝは植惣のお邸内だ、それを斷りなしで、づか〳〵通り抜けやうとするから、表からお廻んなせえと親切に敎へてやつたんだ。』と、植惣は朔平の面前へと仁王立。

『ぢや、何うしても此處は通せんと云ふのかね。』

『さうとも！悠う見たところ、お前さんだつて滿更の水雷と仕思はれねえ。とすれば、今居惣七と墨出した門口の標札が讀めねえ筈もなかろう。』

朔平は忌まくしさの舌打高く『ね、！何うなさ勝手にしろ。』とは言つたが、垣越しに森泉の庭先を見透しながら、未だその場を立ち去り兼てゐる。

その不氣味な眼遣ひが、植惣には何より癪の種。

『勝手にしろとは何だ!! この澁谷界隈で植惣の親方と聞いて見ろ、お江戸そだちは纎隨隈の面流を汲んでい、どんな喧嘩場へ飛込まうと、唯の一度も失敗を取つた覺えのねえ男だぞ。』と、ヅッシリ地響きを打たせて二歩三歩『お、おい、それを喧だと思ふんなら、遠慮は入らねえからもつと前へ出ろ！汝の禿を張りがめてくれるぜ。』

『馬――馬鹿なことを。』と、朔平は逃腰になりながら『如何に無禮な職人風情にしろ、それぢや餘り野蠻すぎよう。』

『俺が野蠻なら汝は藥罐だ。』さあいつまで愚図付いてられちや仕事の邪魔だ。この上にもまご〳〵してやがると、その素頭から冷水を打掛けるぞ。』とは皐月の鯉の口先のみならず、植惣の氣性では何をするか知れたものでない。

無念なり口惜しやと咳り立つたところで、とても勝ち味なしと思はれたから、是非もなく門前近くまで退却した朔平が、再び未練がましく庭垣越しの彼方に眼を遣ると、清爽な顔に白髯の波を打たせつゝ、悠々として歩み出でた森泉直樹。

『何うしたのぢや？親方、朝から大分騷がしいな。』

『やア！先生ですかい。』と、先刻從前一件で打合せた事などは知らぬ顏の半兵衛『今朝ぐれねえ野郎が、いい事はありやせんぜ。大方家業ねらひか風盜だらうが、眼ばかりキョロ付かせた變な化物が飛込みやがつて、お隣家は森泉と云やあしねえかの、廿四五の婦人を見かけねえかのと、糊掛り葉掛り！あんまり小煩くてならねえから、今、脇骨を見せて追拂ひかけてるところでさ。』

『森泉と云へば俺を尋ねて來たのでないか。』と、始めて朔平に氣注いたらしく『お、これは珍らしい人が見えたものぢや。』

朔平は漸く救はれたやうに吻と顔息。

『その後は、何ともハヤ御無沙汰を。』

『おア、先生はこんな獸を御存知なんで。』と、植惣は飽くまでもぬけ〳〵した顔付『それならそれで早く打明けたら可いものを、妙に探偵がゝつた眞似をしやがるから、此方だつて體手古に勘違ひしちやうぢやねえか。』

『何有、決して怪しい人物ではない。』と、直樹は朔平に打向つて『不意に尋ねて來られたは、何ぞ用事でもあつてかな。』

○商業教育とご婦人

▲戰爭以來著しく注意せらる

今度の戰爭の以前から商業界は女子の働き場とされて居ませんでしたが、開戰以來女子に對する此方面の需要が非常に增加しました。勿論一時の間に合せで從つて其賃金も男子と同等とまで云ふ譯にはゆきませんが、其處で女子にも

▲高等 の商業敎育の必要が起りました。米國では既に紐育市に於て是等高等商業敎育を受けたもの女子六十名が商業國立銀行、モルガン銀行、其他同市主要銀行の重要な位置を占めて居ります。而してこの敎育に從事して居る婦人はワイリー孃を始めて非常に熱心に女子を敎へて居る又佛蘭西でも戰爭後其必要を認めサアス女史は巴里に於て中流家庭の女子で平時なれば母と共に市場に買物の稽古に行き家に在つては裁縫等をして

世界的勢力となる事は出來ぬと云つて居る、サスアも佛國に於て同じく女子を經濟的勢力者にしようとして敎育して居るが政府に其必要を認めしむる爲め種々の困難をして居る佛蘭西銀行では七百、貯金銀行では四百リオン銀行では一千二百の女子を使用して居る、又サスア女子は獨逸製の玩具を一切佛蘭西製の品で補はうとして玩具製造團體を旣に組織して居るが巴里に女子商業學校の設立なきを以て一千九百十六年に商務大臣トムソン氏に面會を求めて其必要を說いた其時女史は『女子に商業を[illegible]し得る

▲能力 があると思ふか』との氏の問ひに對して『それは敎育して後御使用あらば明かな事である、今吾等の最も要求するものは學校である』と答へたとの事であるが、英國では既に二十七萬八千人以上の婦人が出征した商人の後繼をなして居る、勿論火急の場合であるので適當の準備なくして從事して居るので今政府が種々の方法によりそれが速成敎授を試みて居ること

▲婚期 を待つて居る筈の女子百二十五人を集めて商業敎育を施して居る、戰爭前の女子との思想とは全く違つて居る、而して此商業學校の生徒は專門家、醫家、法律家等其他有名なる人々の子女が多いと云ふ事である、又中には兄が戰死したので二人の妹が其家業を繼續する爲めにとて入學した者や、孫娘等もある、而して此等の卒業生が要求が多くて常に斷り切れずに居るとの事である 又獨逸でも近來は同樣の敎育を施して居る結婚した婦人に銀行事業を許さぬ風習のあつたベルリン市に婦人銀行を設立して世人を驚かした、フオン、ヴンシュ夫人は『女子が

▲金權 を得ざる間は決して

○株式波瀾激甚

▲人氣動搖す 市場の波[illegible]

し目として迎へられ川尻の沸騰を演じ越ねて十五日は朝來頗る活氣[illegible]

撥より猿株名古屋株式の如きも八九圓上騰るゝに至り引尻の新東株[illegible]

極度に昂進せる市人も愈々獨逸の無條件屈服を傳へられ心機一轉皆[illegible]

三四日間にて六十圓方の狂騰を演じ先限にて親株二百三十四圓新株[illegible]

く人氣如何によるものなれば今後益々熱度を加ふるに至らば如何な[illegible]

兵の熱狂相場は今後ならんとも茲三日間の休會にて人氣稍鎭靜すべ[illegible]

仁川期米

安値	三十三圓八十九錢
止め	三十四圓十七錢
高値	三十四圓十七錢

後場當限出來不申 ▲中限一箇二十九圓五十錢二箇五[illegible] ▲先限[illegible]

二十日の一月限 [illegible]

肺結核肋膜炎藥

全國到ル處ニ取次販賣ヲナス當寺家傳ノ肺病肋膜炎專門藥ハ醫藥ト併用差支ナキ至テ安全ノ良藥ナルガ本劑ハ元來救世劑トシテノ家傳ナレバ諸肺病肋膜炎ヲ始メ肺結核ハ如何ニ重病モ十日分用ヒテ若シ快治ノ見込ナキ御方ヘハ代金返戾可仕規定ニ付遠慮ナク返金ノ御請求相成度若シ何カノ故障ニテ取次者カ返金ヲ拒ム場合ハ御一報次第直接當寺ヘ御通知アレバ當寺ハ無効ノ實否又ハ事ノ如何ヲ問ハズ直ニ辨金可仕仍テ愛ニ謹告ス 藥十日分四圓 煎藥十日分參圓 代金引替ノ外御送無料

本家 肥前長崎港口 極樂寺 (振替福岡八〇六番)

淋病 梅毒 ルーデサック

淋病特効一週分 普通貳圓五拾錢 特製[illegible]
梅毒特効一週分 普通壹圓二十錢 特製貳圓[illegible]
本藥は殺菌力強大にして些の副作用なく急性慢性淋病及び各期梅毒性諸疾患に服用し最も安全迅速に治療の目的を達す
男用一打 四拾錢 特製六拾錢
女用一個 特製七十錢 舶形珍一個廿五錢
其他各種(送料要)
京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會朝鮮本部

新案獨學 イロハ辭典付 鮮語自在

笹山章著 發行所 ワツボヤ書店

誰れにもすぐに間に合ひ「必ず上手になる理」想的新案 獨學得なり

著者は鮮語獨學に關し獨創の見を懷き從來の所謂獨學書類と其撰を異にし茲に一新機軸を出しむに新案の文字を冠せり上欄にはイロハ辭典及朝鮮地名集を付す本文には諺文の組立、文法、單語、會話、略語、對話、作文等鮮語に關する一切を網羅せり

ポケット形 二百頁 定價五十錢 送料二錢 代金引換 小包七十錢

發賣元 京城太平通 京城日報社代理部 (振替京城三〇〇番)

明眸

人氣ますます盛なる 白色美顏水

御婦人方へ!!

現今の御婦人全體の要求にぴつたり適つた新式化粧料

▲茲に意外な 話があります。皆様はよく、少しも態とらしい所が無く極く自然にスッキリと氣持のよいお化粧顏の方を御見かけに成ませう。而て餘程お化粧上手の方が、何か特別の

▲祕密な方法 に依らないでは彼あは行かぬとお思に成ませう。所が案外にもあのお化粧が今では誠に易なく出來る時代となつて居りますのです。あれは光榮ある桃谷研究試驗所創製

▲三十六種の 高貴御用命品の一種として今益々人氣を集めてゐる白色美顏水でお化粧なさつたのでムいます。實際此品でお化粧なされば、勞なく見事に、丁度生れついて色白の方の

▲自然の儘の 色の白さ、美しさ……あゝ言つた美しさを、極く美術的にそれでゐて少しも態とらしくなく發揮する樣に成つてゐるから妙です。一體從來お化粧と言ふものは概して

▲婦人の苦痛 の種になつて居たもので、惡く不自然で白ペンキの樣に白かつたり何となく薄黑かつたり、斑だつたりして、何うも充分綺麗に行かなかつたものですが、白色美顏水が

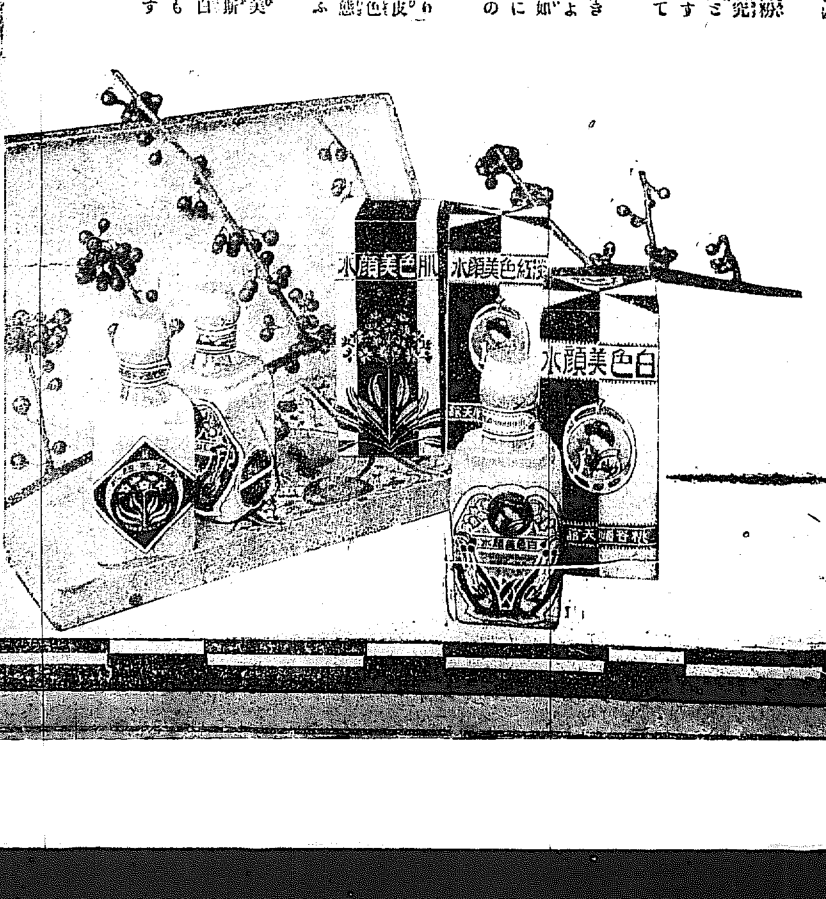
▲學者の研究 で世に現れてから、全く然ういふ心配が無くなつたので、婦人方の滿足此上なく、忽ち大變な歡迎を受け今ます〳〵流行となつて居るのですが、では白色美顏水とは、

▲どんなもの かと申しますと、普通の水へ白粉を溶込んだ樣な品で無く桃谷研究試驗所で新に完成した美容成分と或特種の白粉を元にしてありますので、第一被覆力が強い爲附けて

▲斑にならず 生れつき色が白い樣な白さに附き第二に白粉の原料に殊に光澤のよいものを撰んである爲其白さに如何にも活々した艶が添ひ、第三に前に申しました新しい美容成分の

▲新しい作用 から化粧の一時的の美しさばかりで無く、常用するうち生地から皮膚を艶麗にし素顏の美を增す特色が在ります。化粧を一層自然に態とらしくなく而て美術的にと言ふ

▲近來の婦人 方全體の御希望は、始めて白色美顏水で滿されたのであります。斯ういふ完全な化粧料ですから、白色美顏水は高貴の方々の御間にも始終御愛用を拜して居ますのです



薄化粧料三種
▲白色美顏水
▲淡紅色美顏水
▲肌色美顏水